

初等少年院在院者の中学校生活に関する意識調査

矯正協会附属中央研究所 佐藤良彦
岡部俊六
北村大

キーワード：中学生，生活意識，規範意識，携帯電話，インターネット

I はじめに

今日の中学校教育を取り巻く環境は厳しく、いじめ、自殺、学力低下、家庭問題、規範意識の低下等の広範囲かつ根深い問題が指摘されているところである。

折しも、政府においては、平成18年10月10日、各界から多数の有識者を招集して「教育再生会議」を設置し、「学校再生」、「規範意識・家族・地域教育再生」、「教育再生」の3分野にわたって検討が重ねられてきたところである。平成19年6月には第2次報告がなされ、今後、最終報告に向けての真しな議論・検討が進ちよくするものと期待される所であり、既に策定されている「青少年育成施策大綱（平成15年12月9日策定）」の実施と相まって、21世紀の日本を託すべき青少年の教育問題に対する国民的関心は益々高まってきているといえよう。

当研究所では別途研究において、中学校の教育現場における一般中学生の意識調査の直近のデータを入手しており、一般中学生の意識と問題点、それに係る提言や対策は、矯正教育の分野にも共通するものがあると思料されるところから、本研究に着手したものである。

本研究では前記調査対象とした同年齢層の初等少年院在院少年に対して同様の意識調査を行った。これまでも少年院在院生に対する意識調査は多数なされているものの、在院少年の社会で生活していた当時における中学校生活への適応状況等を把握して、一般中学生との差異を比較する研究は少ない。本研究は実証データに基づいて考察できるほか、いずれは社会の構成員として巣立っていく在院少年の矯正処遇の実施に必要な情報を取得することを目的としている。

各少年院において、本調査結果が指導内容の更なる充実を図るための基礎資料として活用されることを期待したい。

II 目的

都内都市部に在学中の中学生及び初等少年院の教科教育課程 E_1 ^{註1)} 対象者の、中学校生活に関する意識調査を実施し、少年院の実務資料として提供することを目的とする。

III 方法等

1 調査期間

平成19年3月から同年4月20日まで

2 調査対象者

教科教育課程 (E_1) を有している少年院19庁に、平成19年3月31日現在収容されている少年で、入院時の処遇課程が E_1 であった者 (以下、「 E_1 対象者」という。) 283名 (男子237名, 女子46名)。なお、少年院収容中に15歳を超えた少年についても上記条件に該当している場合、調査対象者とした。

また、本調査で E_1 対象者と比較した中学生は、都内都市部の中学生 (以下、「一般中学生」という。) 249名 (男子143名, 女子106名) である。

なお、有効回答であっても、設問によっては無回答・未記入の項目がある場合は欠損値として、それぞれの設問項目の分析対象から除外した。そのため、設問項目の回答総数が有効回答総数と一致しない場合がある。

3 調査方法

調査対象者それぞれが自ら記載する択一回答方式の調査票を用いた。調査対象者の調査への協力は任意とし、無記名方式での回答を求めた。調査実施方法は集団、個別いずれでもよいこととし、調査対象施設の判断に委ねた。

統計処理する際の統計ソフトは、SPSS for windows ver.15を用いた。

IV 調査内容

調査項目は以下のとおりである (調査票の内容は巻末資料のとおり)。

1 属性

調査では、 E_1 対象者の属性として、①性別、②当該少年院に入院した際の年齢、③入院時の学年 (中学)、④調査日時点の処遇級について尋ねている。

2 中学生時の意識

E₁対象者については、中学校に在学していた際の様々な領域に対する自己の意識について回顧的に尋ねている。調査領域は大別して①学習関係(6項目)、②学校生活関係(7項目)、③家庭生活関係(9項目)、④規範意識(3項目)、⑤相談したかったこと、に分類される。調査項目は、原則的に対象群である一般中学生の調査で使用したものと同一のものを使用している。ただし、E₁対象者については中学校在学時の様々な意識について回顧的に尋ねている関係上、質問文が若干変更されているほか、一部質問項目を調整している。そのため、両群の調査結果を比較する際、選択肢が他方のそれより多い質問については、余剰した選択肢を除外する等、選択肢数及び内容を同一にする措置を講じ、再集計した。

3 携帯電話・インターネットの使用状況

E₁対象者のみを対象とした質問項目であり、①携帯電話の所持状況、②携帯電話を使用して変化したこと、③携帯電話の使用頻度、④インターネットの利用状況、⑤インターネットの使用頻度、⑥インターネットの使用目的について尋ねている。

V 結果

調査結果については、原則的にはE₁対象者の回答傾向について述べているが、①E₁対象者の男子と一般中学生の男子、②E₁対象者の女子と一般中学生の女子と分類した上、その回答結果について主に χ^2 検定を実施している。ただし、実施した結果、同検定が適用しない場合は、回答項目を統合して各度数を合算した後、再度実施している場合がある。また、E₁対象者だけに調査した質問項目については、男女別に集計結果を示した後、上記検定を実施している。

1 属性

(1) 年齢 (表1)・入院時の学年 (表2)

E₁対象者の平均年齢は、14.4歳 (男子14.4歳, 女子14.5歳) である。ちなみに調査日時点で、少年院には14歳未満の少年を収容することができなかったことから^{注2)}、中学1年生で入院した者はいない。

表1 年齢

	男子	女子	合計
13歳	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
14歳	142 (59.9)	21 (45.7)	163 (57.6)
15歳	94 (39.7)	25 (54.3)	119 (42.0)
16歳	1 (0.4)	0 (0.0)	1 (0.4)
計	237 (100.0)	46 (100.0)	283 (100.0)
平均年齢	14.4	14.5	14.4

注 () 内は、構成比である。

表2 入院時の学年

	男子	女子	合計
中学2年	64 (27.0)	8 (17.4)	72 (25.4)
中学3年	173 (73.0)	38 (82.6)	211 (74.6)
計	237 (100.0)	46 (100.0)	283 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

(2) 調査日時点の処遇級 (表3)

中間期教育過程となる2級上・1級下の者の割合が、男女共に高く、全体の約7割 (67.8%) を占める。

表3 処遇級

	男子	女子	合計
2級下	41 (17.3)	4 (8.7)	45 (15.9)
2級上	94 (39.7)	24 (52.2)	118 (41.7)
1級下	61 (25.7)	13 (28.3)	74 (26.1)
1級上	41 (17.3)	5 (10.9)	46 (16.3)
計	237 (100.0)	46 (100.0)	283 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

2 中学生時の意識

(1) 学習関係

ア 授業の予習・復習をしていましたか (問2) (図1・表4)

E₁対象者においては、男女共に8割強の者が「してなかった」と回答している(男子:83.1%, 女子:80.4%)。男女別に各項目の回答を「していた」「していた」及び「少ししていた」の合計と「してなかった」「あまりしてなかった」及び「してなかった」の合計)の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であった(資料1-1)。

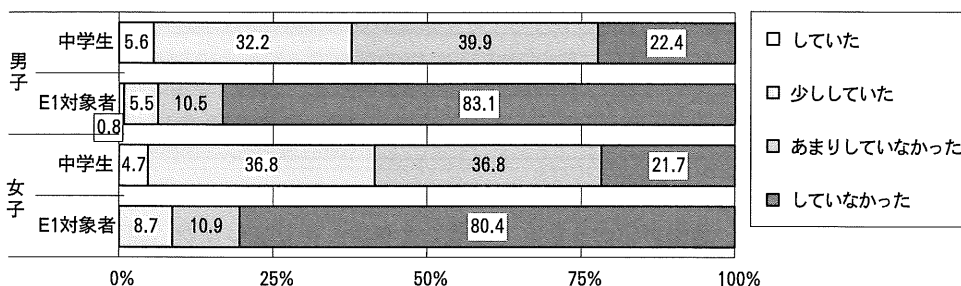


図1 授業の予習・復習をしていましたか (問2)

表4 授業の予習・復習をしていましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
していた	8 (5.6)	2 (0.8)	10 (2.6)	5 (4.7)	0 (0.0)	5 (3.3)
少ししていた	46 (32.2)	13 (5.5)	59 (15.5)	39 (36.8)	4 (8.7)	43 (28.3)
あまりしてなかった	57 (39.9)	25 (10.5)	82 (21.6)	39 (36.8)	5 (10.9)	44 (28.9)
してなかった	32 (22.4)	197 (83.1)	229 (60.3)	23 (21.7)	37 (80.4)	60 (39.5)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「していますか」といった現在形で示されている。

イ 勉強が分からなくて困ることがよくありましたか（問3）（図2・表5）

E₁対象者においては、男女共に「よくあった」と回答する割合が高い（男子：55.3%，女子：65.2%）。男女別に各項目の回答を「あった」（「よくあった」及び「時々あった」の合計）と「なかった」（「あまりなかった」及び「なかった」の合計）の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男子は有意でなく、女子は有意であった（資料1-2）。

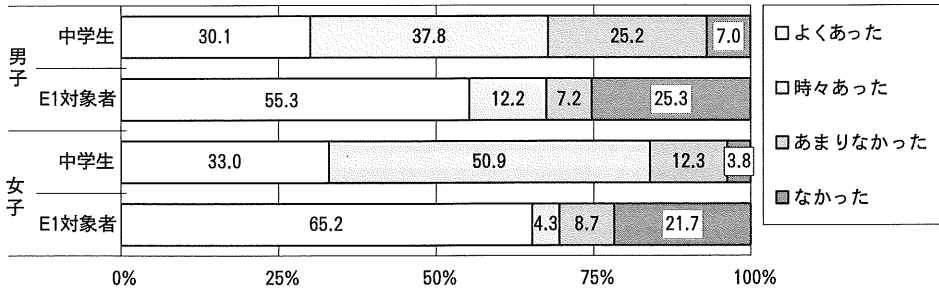


図2 勉強が分からなくて困ることがよくありましたか（問3）

表5 勉強が分からなくて困ることがよくありましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
よくあった	43 (30.1)	131 (55.3)	174 (45.8)	35 (33.0)	30 (65.2)	65 (42.8)
時々あった	54 (37.8)	29 (12.2)	83 (21.8)	54 (50.9)	2 (4.3)	56 (36.8)
あまりなかった	36 (25.2)	17 (7.2)	53 (13.9)	13 (12.3)	4 (8.7)	17 (11.2)
なかった	10 (7.0)	60 (25.3)	70 (18.4)	4 (3.8)	10 (21.7)	14 (9.2)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「ありますか」といった現在形で示されている。

ウ 家に帰ってから、勉強は平均何時間ぐらいしていましたか（問5）（図3・表6）

E₁対象者においては、男女共にほとんどの者が「しなかった」と答えた（男子：86.9%，女子：78.3%）。男女別にE₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であり（ $\chi^2(4) = 157.87, p < .01$ （男子），45.04, $p < .01$ （女子）），残差分析^{注3)}をしたところ、男女共にE₁対象者は一般中学生に比べ「しなかった」と多く回答している。

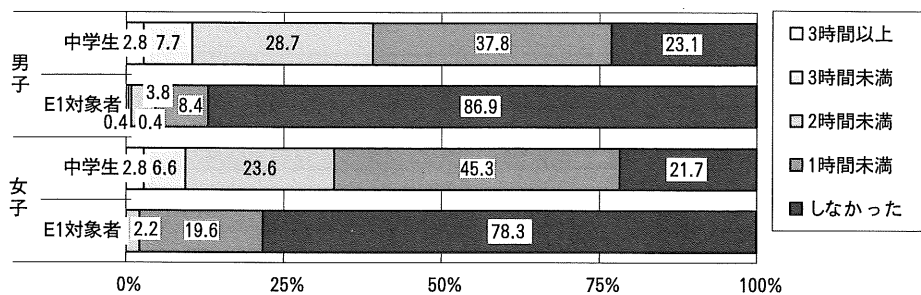


図3 家に帰ってから、勉強は平均何時間ぐらいしていましたか（問5）

表6 家に帰ってから、勉強は平均何時間ぐらいしていましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
3時間以上	4 (2.8)	1 (0.4)	5 (1.3)	3 (2.8)	0 (0.0)	3 (2.0)
3時間未満	11 (7.7)	1 (0.4)	12 (3.2)	7 (6.6)	0 (0.0)	7 (4.6)
2時間未満	41 (28.7)	9 (3.8)	50 (13.2)	25 (23.6)	1 (2.2)	26 (17.1)
1時間未満	54 (37.8)	20 (8.4)	74 (19.5)	48 (45.3)	9 (19.6)	57 (37.5)
しなかった	33 (23.1)	206 (86.9)	239 (62.9)	23 (21.7)	36 (78.3)	59 (38.8)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「していますか」といった現在形で示されている。

エ 勉強がわからないとき、主に何に頼っていましたか (問7) (図4・表7)

E₁対象者においては、男女共に「そのままにしておいた」と回答した者が7割を超えた (男子：70.8%，女子：71.7%)。男女別にE₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であり ($\chi^2(5) = 150.65, p < .01$ (男子), 72.29, $p < .01$ (女子)), 残差分析をしたところ、男女共にE₁対象者は「そのままにしておいた」と多く回答し、一般中学生はE₁対象者に比べ「家族」「塾」を多く回答している。

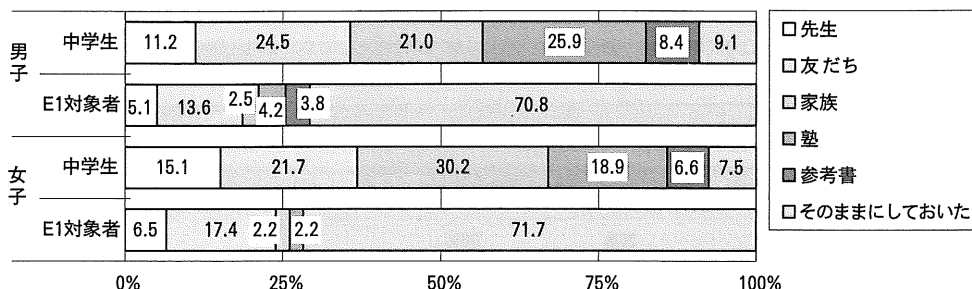


図4 勉強がわからないとき、主に何に頼っていましたか (問7)

表7 勉強がわからないとき、主に何に頼っていましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
先生	16 (11.2)	12 (5.1)	28 (7.4)	16 (15.1)	3 (6.5)	19 (12.5)
友だち	35 (24.5)	32 (13.6)	67 (17.7)	23 (21.7)	8 (17.4)	31 (20.4)
家族	30 (21.0)	6 (2.5)	36 (9.5)	32 (30.2)	1 (2.2)	33 (21.7)
塾	37 (25.9)	10 (4.2)	47 (12.4)	20 (18.9)	1 (2.2)	21 (13.8)
参考書	12 (8.4)	9 (3.8)	21 (5.5)	7 (6.6)	0 (0.0)	7 (4.6)
そのままにしておいた	13 (9.1)	167 (70.8)	180 (47.5)	8 (7.5)	33 (71.7)	41 (27.0)
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「教えてもらいますか」といった現在形で示されている。

オ あなたは学校から帰宅した後、学習塾に通っていましたか（問23）（図5・表8）
 本問はE₁対象者のみに質問された。男女共に「通わなかった」と回答したものが8割を超えた（男子：84.8%，女子：82.6%）。各項目の回答を「通っていた」（「通っていた」及び「ときどき通っていた」の合計）と「通わなかった」（「あまり通わなかった」及び「通わなかった」の合計）の2項目に統合し、男女の回答について χ^2 検定を実施したところ、有意ではなかった（資料1-3）。

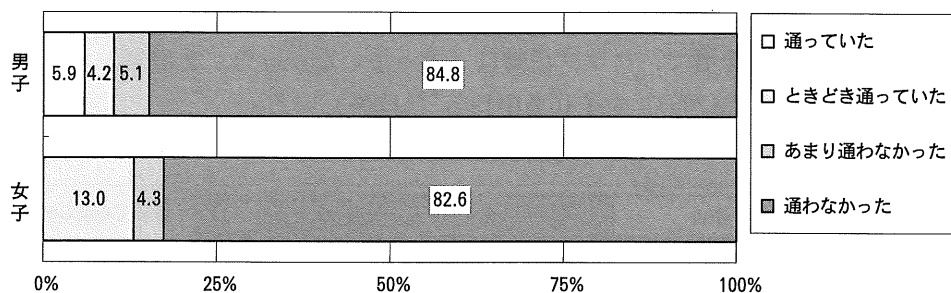


図5 あなたは学校から帰宅した後、学習塾に通っていましたか（問23）

表8 あなたは学校から帰宅した後、学習塾に通っていましたか

	男子	女子	合計
通っていた	14 (5.9)	0 (0.0)	14 (4.9)
ときどき通っていた	10 (4.2)	6 (13.0)	16 (5.7)
あまり通わなかった	12 (5.1)	2 (4.3)	14 (4.9)
通わなかった	201 (84.8)	38 (82.6)	239 (84.5)
合計	237 (100.0)	46 (100.0)	283 (100.0)

注 ()内は、構成比である。

(2) 学校生活関係

ア クラブ活動は楽しかったですか (問1) (図6・表9)

「とても楽しかった」又は「大体楽しかった」と回答した割合は、一般中学生、E₁対象者共に高く、全体の6割以上を占めている。男女別に各項目の回答を「楽しかった」(「とても楽しかった」及び「大体楽しかった」の合計)と「楽しくなかった」(「あまり楽しくなかった」及び「楽しくなかった」の合計)の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意ではなかった(有意水準5%未満を有意とする。以下同じ。)(資料1-4)。

また、E₁対象者で、クラブ活動に「入っていなかった」と回答した者は、男子237名中68名(28.7%)、女子46名中19名(41.3%)いた。

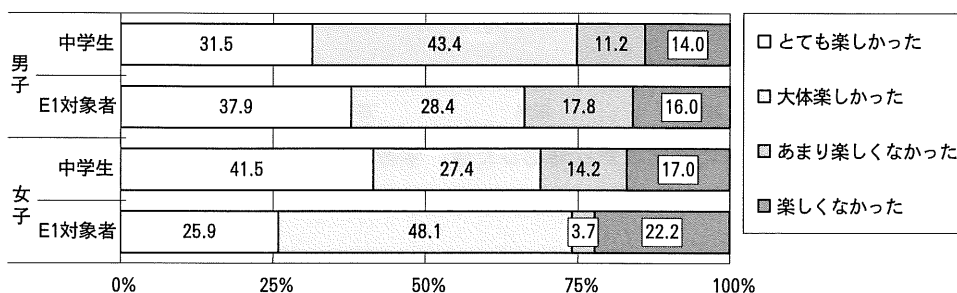


図6 クラブ活動は楽しかったですか (問1)

表9 クラブ活動は楽しかったですか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
とても楽しかった	45 (31.5)	64 (37.9)	109 (34.9)	44 (41.5)	7 (25.9)	51 (38.3)
大体楽しかった	62 (43.4)	48 (28.4)	110 (35.3)	29 (27.4)	13 (48.1)	42 (31.6)
あまり楽しくなかった	16 (11.2)	30 (17.8)	46 (14.7)	15 (14.2)	1 (3.7)	16 (12.0)
楽しくなかった	20 (14.0)	27 (16.0)	47 (15.1)	18 (17.0)	6 (22.2)	24 (18.0)
合計	143 (100.0)	169 (100.0)	312 (100.0)	106 (100.0)	27 (100.0)	133 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「楽しいですか」といった現在形で示されている。

注3 E1対象者で、クラブ活動に「入っていなかった」と回答した者を除く。

イ クラスの係や生徒会などの委員になって活動してみたいと思いましたか（問4）
（図7・表10）

E₁対象者においては、男女共に「思わなかった」と回答した者が半数を超えた（男子：62.0%，女子：50.0%）。男女別に各項目の回答を「思った」（「そう思った」及び「少し思った」の合計）と「思わなかった」（「あまり思わなかった」及び「思わなかった」の合計）の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であった（資料1-5）。

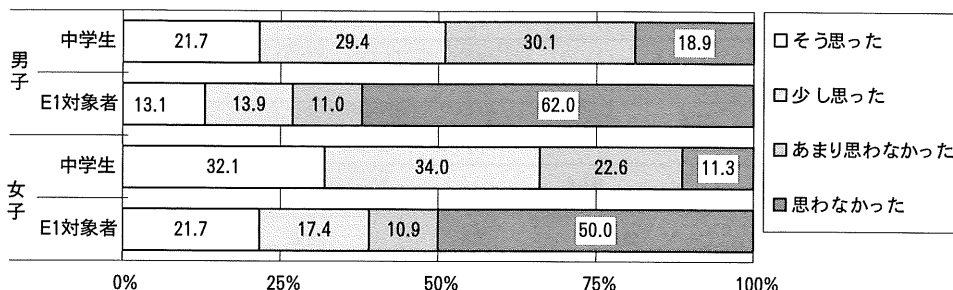


図7 クラスの係や生徒会などの委員になって活動してみたいと思いましたか（問4）

表10 クラスの係や生徒会などの委員になって活動してみたいと思いましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
そう思った	31 (21.7)	31 (13.1)	62 (16.3)	34 (32.1)	10 (21.7)	44 (28.9)
少し思った	42 (29.4)	33 (13.9)	75 (19.7)	36 (34.0)	8 (17.4)	44 (28.9)
あまり思わなかった	43 (30.1)	26 (11.0)	69 (18.2)	24 (22.6)	5 (10.9)	29 (19.1)
思わなかった	27 (18.9)	147 (62.0)	174 (45.8)	12 (11.3)	23 (50.0)	35 (23.0)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「思いますか」といった現在形で示されている。

ウ 学校に行くのがいやになることがありましたか (問6) (図8・表11)

E₁対象者においては、「よくあった」又は「少しあった」と回答した者が、男子が57.0%であるのに対し、女子は86.9%と高い割合を占めた。男女別に各項目の回答を「あった」(「よくあった」及び「少しあった」の合計)と「なかった」(「あまりなかった」及び「なかった」の合計)の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であった(資料1-6)。

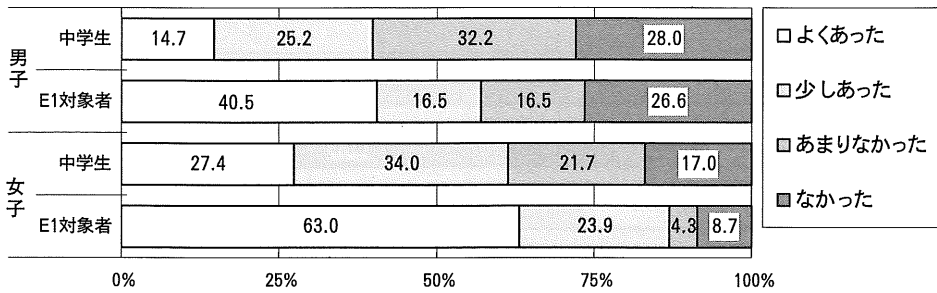


図8 学校に行くのがいやになることがありましたか (問6)

表11 学校に行くのがいやになることがありましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
よくあった	21 (14.7)	96 (40.5)	117 (30.8)	29 (27.4)	29 (63.0)	58 (38.2)
少しあった	36 (25.2)	39 (16.5)	75 (19.7)	36 (34.0)	11 (23.9)	47 (30.9)
あまりなかった	46 (32.2)	39 (16.5)	85 (22.4)	23 (21.7)	2 (4.3)	25 (16.4)
なかった	40 (28.0)	63 (26.6)	103 (27.1)	18 (17.0)	4 (8.7)	22 (14.5)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「ありますか」といった現在形で示されている。

エ 学校で節度のある生活ができていましたか（問 8）（図 9・表12）

E₁対象者においては、男女共に「できていなかった」と回答した者が8割を超えていた（男子：82.7%，女子：80.0%）。男女別に各項目の回答を「できていた」（「できていた」及び「大体できていた」の合計）と「できていなかった」（「あまりできていなかった」及び「できていなかった」の合計）の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であった（資料1-7）。

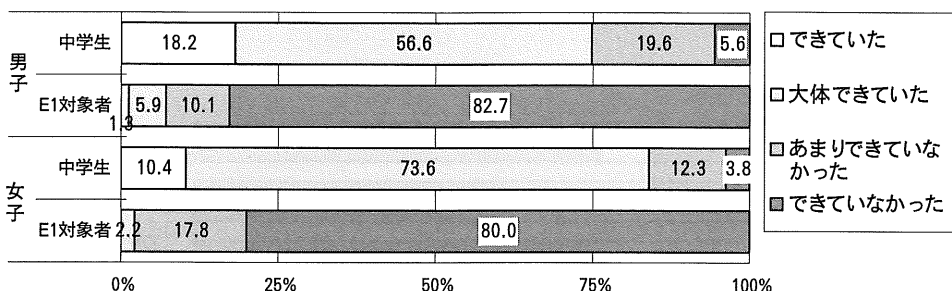


図 9 学校で節度のある生活ができていましたか（問 8）

表12 学校で節度のある生活ができていましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
できていた	26 (18.2)	3 (1.3)	29 (7.6)	11 (10.4)	0 (0.0)	11 (7.3)
大体できていた	81 (56.6)	14 (5.9)	95 (25.0)	78 (73.6)	1 (2.2)	79 (52.3)
あまりできていなかった	28 (19.6)	24 (10.1)	52 (13.7)	13 (12.3)	8 (17.8)	21 (13.9)
できていなかった	8 (5.6)	196 (82.7)	204 (53.7)	4 (3.8)	36 (80.0)	40 (26.5)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	45 (100.0)	151 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「できていますか」といった現在形で示されている。

オ 友だちとの仲は良かったと思いますか (問9) (図10・表13)

E₁対象者においては、「とても仲が良かった」又は「大体仲が良かった」と回答する者が8割を超えていた(男子:計85.2%, 女子:計87.0%)。一般中学生においても、「とても」又は「大体」仲が良いと答える割合は非常に高い(男子:計95.8%, 女子:計89.7%)。男女別に各項目の回答を「仲がよかった」(「とても仲がよかった」及び「大体仲がよかった」の合計)と「よくなかった」(「あまり良くなかった」及び「よくなかった」の合計)の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男子は有意であり、女子は有意ではなかった(資料1-8)。

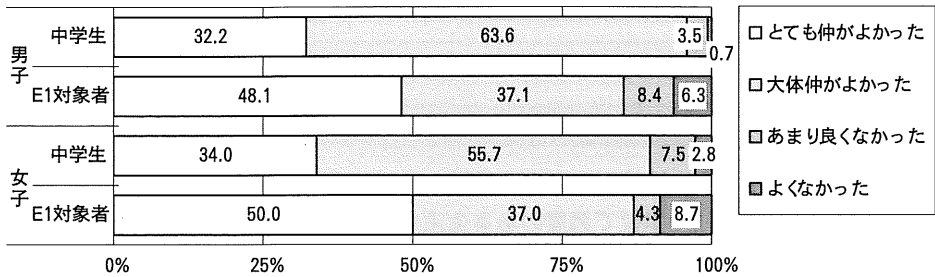


図10 友だちとの仲は良かったと思いますか (問9)

表13 友だちとの仲は良かったと思いますか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
とても仲がよかった	46 (32.2)	114 (48.1)	160 (42.1)	36 (34.0)	23 (50.0)	59 (38.8)
大体仲がよかった	91 (63.6)	88 (37.1)	179 (47.1)	59 (55.7)	17 (37.0)	76 (50.0)
あまり良くなかった	5 (3.5)	20 (8.4)	25 (6.6)	8 (7.5)	2 (4.3)	10 (6.6)
よくなかった	1 (0.7)	15 (6.3)	16 (4.2)	3 (2.8)	4 (8.7)	7 (4.6)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「よいと思いますか」といった現在形で示されている。

カ あなたは「困った」とき、主に誰に相談していましたか（問10）（図11・表14）

E₁対象者においては、男女共に「友だち」が最も大きい割合を占め（男子：51.3%、女子：56.5%）、次に「相談しない」が多かった（男子：34.7%、女子：21.7%）。この傾向は、一般中学生にも見られた。男女別にE₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を行ったところ、男女共に有意であった（ $\chi^2(4) = 13.15$, $p < .05$ （男子）, 12.98 , $p < .05$ （女子））。残差分析をしたところ、一般中学生はE₁対象者に比べ男女共に「親・家族」に多く回答していた。

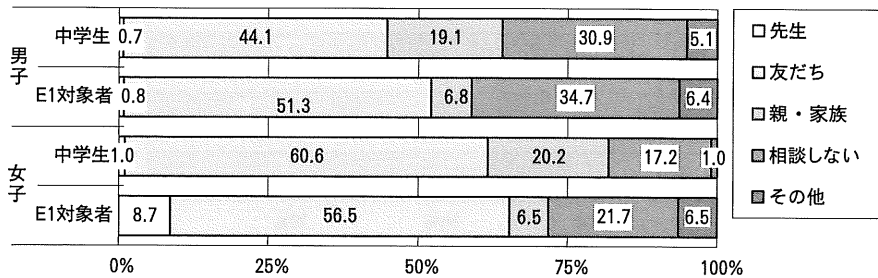


図11 あなたは「困った」とき、主に誰に相談していましたか（問10）

表14 あなたは「困った」とき、主に誰に相談していましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
先生	1 (0.7)	2 (0.8)	3 (0.8)	1 (1.0)	4 (8.7)	5 (3.4)
友だち	60 (44.1)	121 (51.3)	181 (48.7)	60 (60.6)	26 (56.5)	86 (59.3)
親・家族	26 (19.1)	16 (6.8)	42 (11.3)	20 (20.2)	3 (6.5)	23 (15.9)
相談しない	42 (30.9)	82 (34.7)	124 (33.3)	17 (17.2)	10 (21.7)	27 (18.6)
その他	7 (5.1)	15 (6.4)	22 (5.9)	1 (1.0)	3 (6.5)	4 (2.8)
合計	136 (100.0)	236 (100.0)	372 (100.0)	99 (100.0)	46 (100.0)	145 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「相談していますか」といった現在形で示されている。

キ 授業以外で先生と「もっと会話がしたいな」と思いましたか（問11）（図12・表15）
 E₁対象者においては、男女共に「思わなかった」が最も大きい割合を占めた（男子：48.1%，女子：47.8%）。男女別に各項目の回答を「思った」（「そう思った」及び「少し思った」の合計）と「思わなかった」（「あまり思わなかった」及び「思わなかった」の合計）の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男子は有意で、女子は有意ではなかった（資料1-9）。

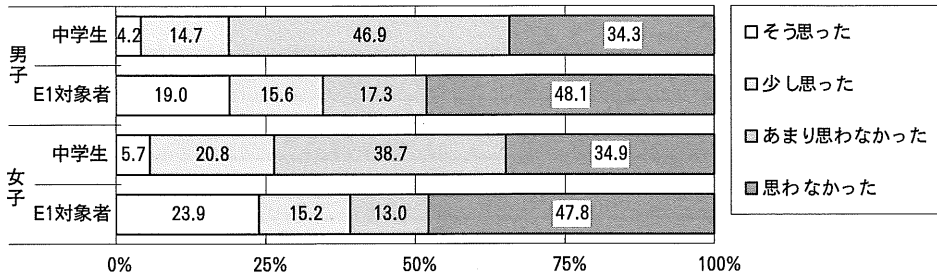


図12 授業以外で先生と「もっと会話がしたいな」と思いましたか（問11）

表15 授業以外で先生と「もっと会話がしたいな」と思いましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
そう思った	6 (4.2)	45 (19.0)	51 (13.4)	6 (5.7)	11 (23.9)	17 (11.2)
少し思った	21 (14.7)	37 (15.6)	58 (15.3)	22 (20.8)	7 (15.2)	29 (19.1)
あまり思わなかった	67 (46.9)	41 (17.3)	108 (28.4)	41 (38.7)	6 (13.0)	47 (30.9)
思わなかった	49 (34.3)	114 (48.1)	163 (42.9)	37 (34.9)	22 (47.8)	59 (38.8)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「思いますか」といった現在形で示されている。

ク 中学に通っていたころ、イライラすることが多かったですか (問13) (図13・表16)

E₁対象者においては、男女共に「よくあった」が最も大きい割合を占めた (男子：56.4%，女子：71.7%)。男女別に各項目の回答を「あった」(「よくあった」及び「少しあった」の合計)と「なかった」(「あまりなかった」及び「なかった」の合計)の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意ではなかった (資料1-10)。

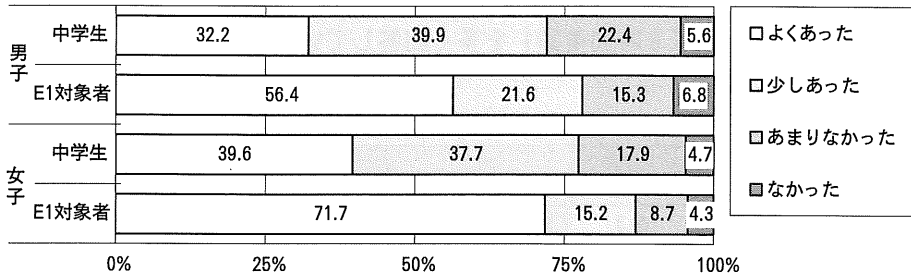


図13 中学に通っていたころ、イライラすることが多かったですか (問13)

表16 中学に通っていたころ、イライラすることが多かったですか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
よくあった	46 (32.2)	133 (56.4)	179 (47.2)	42 (39.6)	33 (71.7)	75 (49.3)
少しあった	57 (39.9)	51 (21.6)	108 (28.5)	40 (37.7)	7 (15.2)	47 (30.9)
あまりなかった	32 (22.4)	36 (15.3)	68 (17.9)	19 (17.9)	4 (8.7)	23 (15.1)
なかった	8 (5.6)	16 (6.8)	24 (6.3)	5 (4.7)	2 (4.3)	7 (4.6)
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「多いですか」といった現在形で示されている。

(3) 家庭生活関係

ア あなたの睡眠時間は中学に通っていたころ、平均どれくらいでしたか (問14)
(図14・表17)

E₁対象者においては、男女共に「6時間未満」が最も多く(男子：43.2%，女子：58.7%)，次いで「9時間以上」が多い(男子：26.3%，女子：17.4%)。男女別にE₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を行ったところ、男女共に有意であった($\chi^2(4)=84.35, p<.01$ (男子)， $44.24, p<.01$ (女子))。更に残差分析をしたところ、男女共に一般中学生はE₁対象者に比べ「8時間未満」を，E₁対象者は一般中学生に比べ「6時間未満」を多く回答していた。

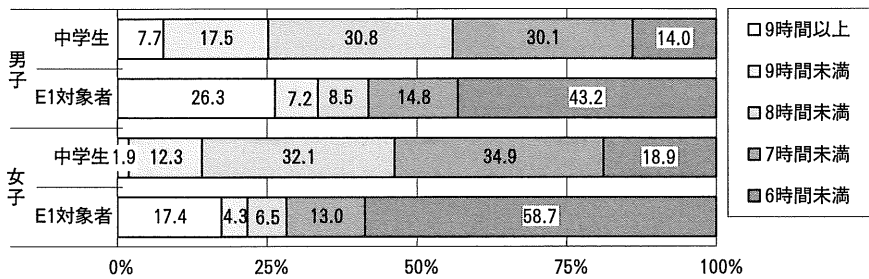


図14 あなたの睡眠時間は中学に通っていたころ、平均どれくらいでしたか (問14)

表17 あなたの睡眠時間は中学に通っていたころ、平均どれくらいでしたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
9時間以上	11 (7.7)	62 (26.3)	73 (19.3)	2 (1.9)	8 (17.4)	10 (6.6)
9時間未満	25 (17.5)	17 (7.2)	42 (11.1)	13 (12.3)	2 (4.3)	15 (9.9)
8時間未満	44 (30.8)	20 (8.5)	64 (16.9)	34 (32.1)	3 (6.5)	37 (24.3)
7時間未満	43 (30.1)	35 (14.8)	78 (20.6)	37 (34.9)	6 (13.0)	43 (28.3)
6時間未満	20 (14.0)	102 (43.2)	122 (32.2)	20 (18.9)	27 (58.7)	47 (30.9)
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「平均どれくらいですか」といった現在形で示されている。

イ 中学に通っていたころ、ねむい・だるいと感じていましたか (問15) (図15・表18)

E₁対象者においては、男女共に「感じていた」が最も多い (男子：60.8%，女子：78.3%)。男女別に各項目の回答を「感じていた」(「感じていた」及び「少し感じていた」の合計)と「感じていなかった」(「あまり感じていなかった」及び「感じていなかった」の合計)の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意ではなかった (資料1-11)。

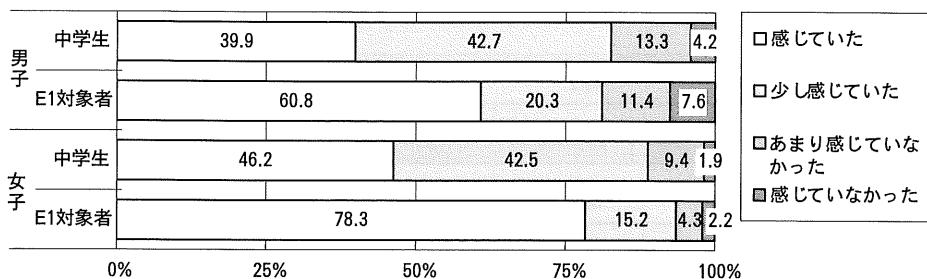


図15 中学に通っていたころ、ねむい・だるいと感じていましたか (問15)

表18 中学に通っていたころ、ねむい・だるいと感じていましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
感じていた	57 (39.9)	144 (60.8)	201 (52.9)	49 (46.2)	36 (78.3)	85 (55.9)
少し感じていた	61 (42.7)	48 (20.3)	109 (28.7)	45 (42.5)	7 (15.2)	52 (34.2)
あまり感じていなかった	19 (13.3)	27 (11.4)	46 (12.1)	10 (9.4)	2 (4.3)	12 (7.9)
感じていなかった	6 (4.2)	18 (7.6)	24 (6.3)	2 (1.9)	1 (2.2)	3 (2.0)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「感じますか」といった現在形で示されている。

ウ あなたは1日3回の朝・昼・晩の食事をとっていましたか(問16)(図16・表19)

E₁対象者においては「とらなかった」が男女共に最も多く、「あまりとらなかった」の者も含めると、特に女子が1日3回の食事をきちんととっていないと回答している(男子:計73.0%,女子:計89.2%)。男女別に各項目の回答を「とっていた」(「とっていた」及び「大体とっていた」の合計)と「とらなかった」(「あまりとらなかった」及び「とらなかった」の合計)の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であった(資料1-12)。

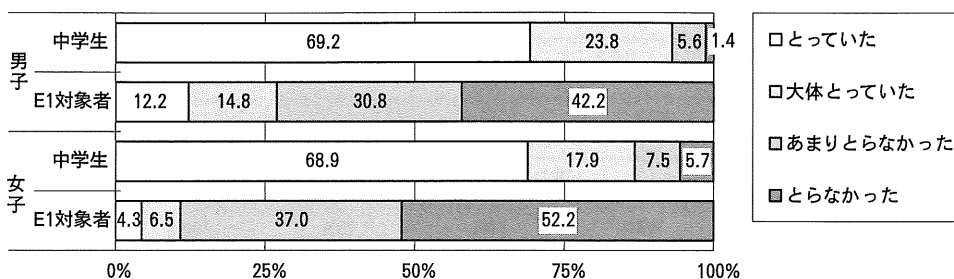


図16 あなたは1日3回の朝・昼・晩の食事をとっていましたか(問16)

表19 あなたは1日3回の朝・昼・晩の食事をとっていましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
とっていた	99 (69.2)	29 (12.2)	128 (33.7)	73 (68.9)	2 (4.3)	75 (49.3)
大体とっていた	34 (23.8)	35 (14.8)	69 (18.2)	19 (17.9)	3 (6.5)	22 (14.5)
あまりとらなかった	8 (5.6)	73 (30.8)	81 (21.3)	8 (7.5)	17 (37.0)	25 (16.4)
とらなかった	2 (1.4)	100 (42.2)	102 (26.8)	6 (5.7)	24 (52.2)	30 (19.7)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「とっていますか」といった現在形で示されている。

エ 家庭では規則正しい生活ができていたと思いますか (問18) (図17・表20)

E₁対象者においては、男女共に「できていなかった」が最も多く、「あまりできていなかった」も含めると、約9割の者が規則正しい生活ができていないとした回答をしている (男子：計88.6%，女子：計89.1%)。男女別に各項目の回答を「できていた」(「できていた」及び「大体できていた」の合計)と「できていなかった」(「あまりできていなかった」及び「できていなかった」の合計)の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であった (資料1-13)。

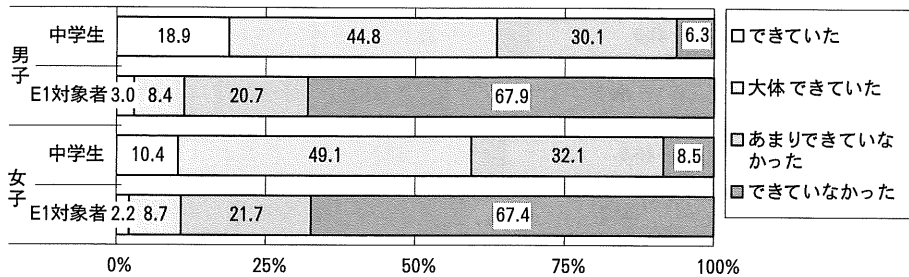


図17 家庭では規則正しい生活ができていたと思いますか (問18)

表20 家庭では規則正しい生活ができていたと思いますか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
できていた	27 (18.9)	7 (3.0)	34 (8.9)	11 (10.4)	1 (2.2)	12 (7.9)
大体できていた	64 (44.8)	20 (8.4)	84 (22.1)	52 (49.1)	4 (8.7)	56 (36.8)
あまりできていなかった	43 (30.1)	49 (20.7)	92 (24.2)	34 (32.1)	10 (21.7)	44 (28.9)
できていなかった	9 (6.3)	161 (67.9)	170 (44.7)	9 (8.5)	31 (67.4)	40 (26.3)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「できていると思いますか」といった現在形で示されている。

オ あなたは家の人から生活上の注意をよく受けてきましたか（問19）（図18・表21）

E₁対象者においては、男女共に「よく受けた」が最も多く（男子：54.7%，女子：52.2%），注意を受ける頻度が少なくなる選択肢になるにつれ，回答比率も低くなっている。これは，一般中学生においても同じ傾向が見られた。男女別に各項目の回答を「受けた」（「よく受けた」及び「少し受けた」の合計）と「受けなかった」（「あまり受けなかった」及び「受けなかった」の合計）の2項目に統合し，E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ，男女共に有意ではなかった（資料1-14）。

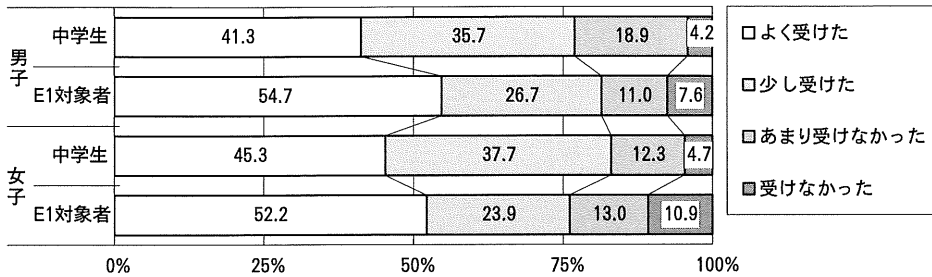


図18 あなたは家の人から生活上の注意をよく受けてきましたか（問19）

表21 あなたは家の人から生活上の注意をよく受けてきましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
よく受けた	59 (41.3)	129 (54.7)	188 (49.6)	48 (45.3)	24 (52.2)	72 (47.4)
少し受けた	51 (35.7)	63 (26.7)	114 (30.1)	40 (37.7)	11 (23.9)	51 (33.6)
あまり受けなかった	27 (18.9)	26 (11.0)	53 (14.0)	13 (12.3)	6 (13.0)	19 (12.5)
受けなかった	6 (4.2)	18 (7.6)	24 (6.3)	5 (4.7)	5 (10.9)	10 (6.6)
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は，構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「受けますか」といった現在形で示されている。

カ あなたは家族の人と話し合いをよくした方ですか (問20) (図19・表22)

E₁対象者においては、男子においては各選択肢が平均的に回答され、女子については「あまり話をしなかった」が最も多く回答されている (37.0%)。男女別に各項目の回答を「話し合いをした」(「よく話をした」及び「少し話をした」の合計)と「話し合いをしなかった」(「あまり話をしなかった」及び「話をしなかった」の合計)の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であった (資料1-15)。

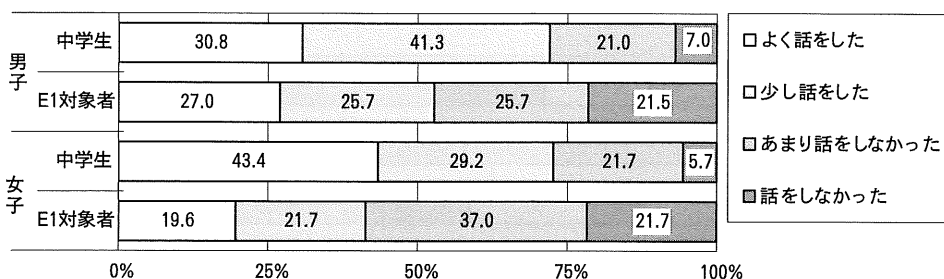


図19 あなたは家族の人と話し合いをよくした方ですか (問20)

表22 あなたは家族の人と話し合いをよくした方ですか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
よく話をした	44 (30.8)	64 (27.0)	108 (28.4)	46 (43.4)	9 (19.6)	55 (36.2)
少し話をした	59 (41.3)	61 (25.7)	120 (31.6)	31 (29.2)	10 (21.7)	41 (27.0)
あまり話をしなかった	30 (21.0)	61 (25.7)	91 (23.9)	23 (21.7)	17 (37.0)	40 (26.3)
話をしなかった	10 (7.0)	51 (21.5)	61 (16.1)	6 (5.7)	10 (21.7)	16 (10.5)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「よくする方ですか」といった現在形で示されている。

キ 家族同士で「おはよう・おやすみなさい」などのあいさつをしていましたか（問21）（図20・表23）

E₁対象者においては、男女共に「しなかった」が多く（男子：42.2%，女子：39.1%）、「あまりしなかった」を含めると、全体の半数を超える者が家族同士のあいさつを行っていない。男女別に各項目の回答を「あいさつをした」（「必ずしていた」及び「ときどきしていた」の合計）と「あいさつをしなかった」（「あまりしなかった」及び「しなかった」の合計）の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であった（資料1-16）。

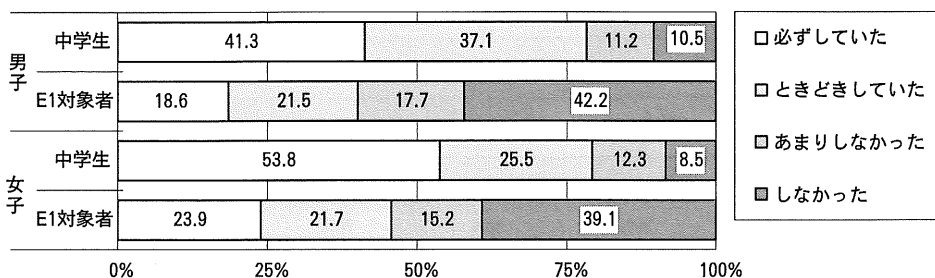


図20 家族同士で「おはよう・おやすみなさい」などのあいさつをしていましたか（問21）

表23 家族同士で「おはよう・おやすみなさい」などのあいさつをしていましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
必ずしていた	59 (41.3)	44 (18.6)	103 (27.1)	57 (53.8)	11 (23.9)	68 (44.7)
ときどきしていた	53 (37.1)	51 (21.5)	104 (27.4)	27 (25.5)	10 (21.7)	37 (24.3)
あまりしなかった	16 (11.2)	42 (17.7)	58 (15.3)	13 (12.3)	7 (15.2)	20 (13.2)
しなかった	15 (10.5)	100 (42.2)	115 (30.3)	9 (8.5)	18 (39.1)	27 (17.8)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「しますか」といった現在形で示されている。

ク あなたは家事の手伝いをしていましたか (問22) (図21・表24)

E₁対象者においては、男女いずれも「ときどきしていた」が最も多く(男子：34.6%，女子：34.8%)，これについては、一般中学生の男女群においても同様であった。男女別に各項目の回答を「していた」「していた」及び「ときどきしていた」の合計)と「しなかった」「あまりしなかった」及び「しなかった」の合計)の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男子は有意でなく、女子は有意であった(資料1-17)。

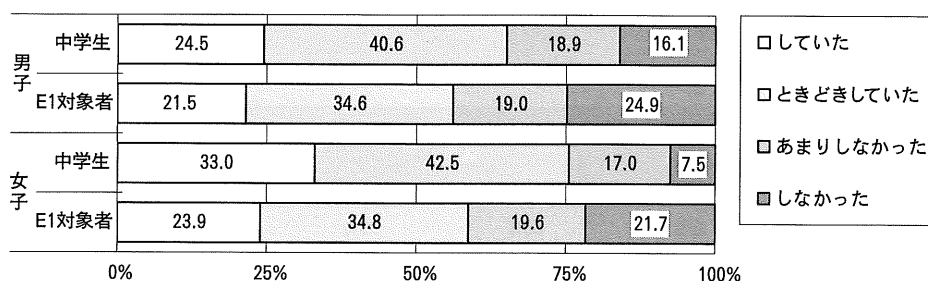


図21 あなたは家事の手伝いをしていましたか (問22)

表24 あなたは家事の手伝いをしていましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
していた	35 (24.5)	51 (21.5)	86 (22.6)	35 (33.0)	11 (23.9)	46 (30.3)
ときどきしていた	58 (40.6)	82 (34.6)	140 (36.8)	45 (42.5)	16 (34.8)	61 (40.1)
あまりしなかった	27 (18.9)	45 (19.0)	72 (18.9)	18 (17.0)	9 (19.6)	27 (17.8)
しなかった	23 (16.1)	59 (24.9)	82 (21.6)	8 (7.5)	10 (21.7)	18 (11.8)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「していますか」といった現在形で示されている。

ケ あなたは学校から帰宅した後、読書をしていましたか（問24）（図22・表25）

本問は E₁ 対象者のみに質問された。男女共に「しなかった」と回答したものが最も多い（男子：56.5%，女子：78.3%）。各項目の回答を「していた」（「していた」及び「ときどきしていた」の合計）と「しなかった」（「あまりしなかった」及び「しなかった」の合計）の2項目に統合し、男女の回答について χ^2 検定を実施したところ、有意ではなかった（資料1-18）。

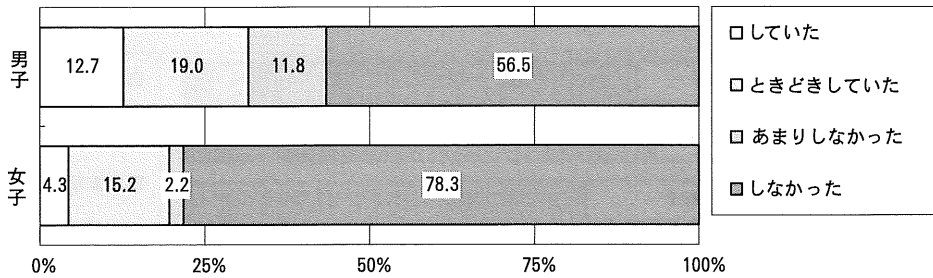


図22 あなたは学校から帰宅した後、読書をしていましたか（問24）

表25 あなたは学校から帰宅した後、読書をしていましたか

	男子	女子	計
していた	30 (12.7)	2 (4.3)	32 (11.3)
ときどきしていた	45 (19.0)	7 (15.2)	52 (18.4)
あまりしなかった	28 (11.8)	1 (2.2)	29 (10.2)
しなかった	134 (56.5)	36 (78.3)	170 (60.1)
合計	237 (100.0)	46 (100.0)	283 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

(4) 規範意識

ア 友だちから「間違っただこと」を誘われたら、断ることができましたか（問12）
（図23・表26）

E₁対象者においては、男女共に「できなかった」が最も多く（男子：57.0%，女子：47.7%）、「あまりできなかった」を含めると、全体の8割を超えている（男子：84.4%，女子：79.5%）。男女別に各項目の回答を「できた」（「いつもできた」及び「だいたいできた」の合計）と「できなかった」（「あまりできなかった」及び「できなかった」の合計）の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意であった（資料1-19）。

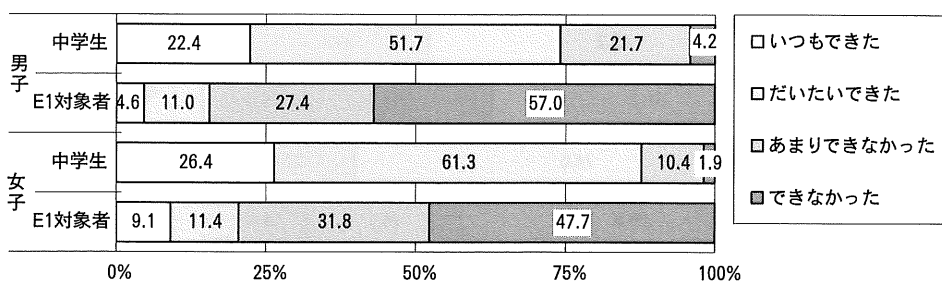


図23 友だちから「間違っただこと」を誘われたら、断ることができましたか（問12）

表26 友だちから「間違っただこと」を誘われたら、断ることができましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
いつもできた	32 (22.4)	11 (4.6)	43 (11.3)	28 (26.4)	4 (9.1)	32 (21.3)
だいたいできた	74 (51.7)	26 (11.0)	100 (26.3)	65 (61.3)	5 (11.4)	70 (46.7)
あまりできなかった	31 (21.7)	65 (27.4)	96 (25.3)	11 (10.4)	14 (31.8)	25 (16.7)
できなかった	6 (4.2)	135 (57.0)	141 (37.1)	2 (1.9)	21 (47.7)	23 (15.3)
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)	106 (100.0)	44 (100.0)	150 (100.0)

注1 ()内は、構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「できますか」といった現在形で示されている。

イ 「出会い系サイト」や「薬物（シンナー類など）」などが危険であることを知っていましたか（問17）（図24・表27）

E₁対象者においては、男女共に「よく知っていた」が最も多く（男子：51.7%，女子：56.5%），危険だという意識が低い選択肢になるにつれ，回答比率も低くなっている。これについては一般中学生も同様の傾向だった。男女別に各項目の回答を「知っていた」（「よく知っていた」及び「大体知っていた」の合計）と「知らなかった」（「あまり知らなかった」及び「知らなかった」の合計）の2項目に統合し，E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ，男子は有意でなく，女子は有意であった（資料1-20）。

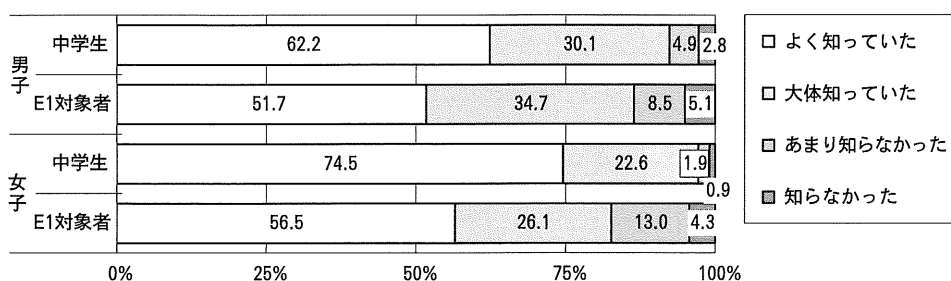


図24 「出会い系サイト」や「薬物（シンナー類など）」などが危険であることを知っていましたか（問17）

表27 「出会い系サイト」や「薬物（シンナー類など）」などが危険であることを知っていましたか

	男子			女子		
	中学生	E1対象者	計	中学生	E1対象者	計
よく知っていた	89 (62.2)	122 (51.7)	211 (55.7)	79 (74.5)	26 (56.5)	105 (69.1)
大体知っていた	43 (30.1)	82 (34.7)	125 (33.0)	24 (22.6)	12 (26.1)	36 (23.7)
あまり知らなかった	7 (4.9)	20 (8.5)	27 (7.1)	2 (1.9)	6 (13.0)	8 (5.3)
知らなかった	4 (2.8)	12 (5.1)	16 (4.2)	1 (0.9)	2 (4.3)	3 (2.0)
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)	106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)

注1 ()内は，構成比である。

注2 一般中学生の質問文は「知っていますか」といった現在形で示されている。

ウ 「してはいけない」と感じる度合い（問26）（図25・表28）

中学生時に「してはいけないこと」として20項目を挙げ、それらに対し、中学校に通っていた際、「やってはいけないことだ」と、どの程度感じていたか（一般中学生は調査時点において感じているか）について最低点を1点、最高点を10点として自己評定してもらった。なお、「ナイフを持ち歩く」、「お酒を飲む」、「無断外泊をする」、「セックスをする」、「気に食わない友だちをハブにする」の5項目については、E₁対象者だけに質問された。

E₁対象者においては、男女共に「ナイフを持ち歩く」が「してはいけないこと」とする平均値が最も高かった（男子：6.23点、女子：5.74点、全体：6.15点）。一般中学生と同じ質問項目中においては、「暴力を振るう」が最も高い平均値であった（男子：4.94点、女子：4.93点、全体4.94点）。

一般中学生と比較すると、一般中学生が男女共に「タバコを吸う」に対して最も高得点をつけているのに対し、E₁対象者は全体で平均3.81点と低かった。

男女別にE₁対象者と一般中学生の回答について、回答点数の分布形を考慮してウィルコクソンの順位和検定^{注4)}を行ったところ、男女共に「かげ口・うわさ話」だけ有意差が認められなかった（男子：W=44,746.50（男子）、3,172.50（女子））以外は、全て有意であった。また、E₁対象者のみの質問5項目の回答に対して、同様の検定を行ったところ、当該項目に対する男女の回答については有意ではなかった。

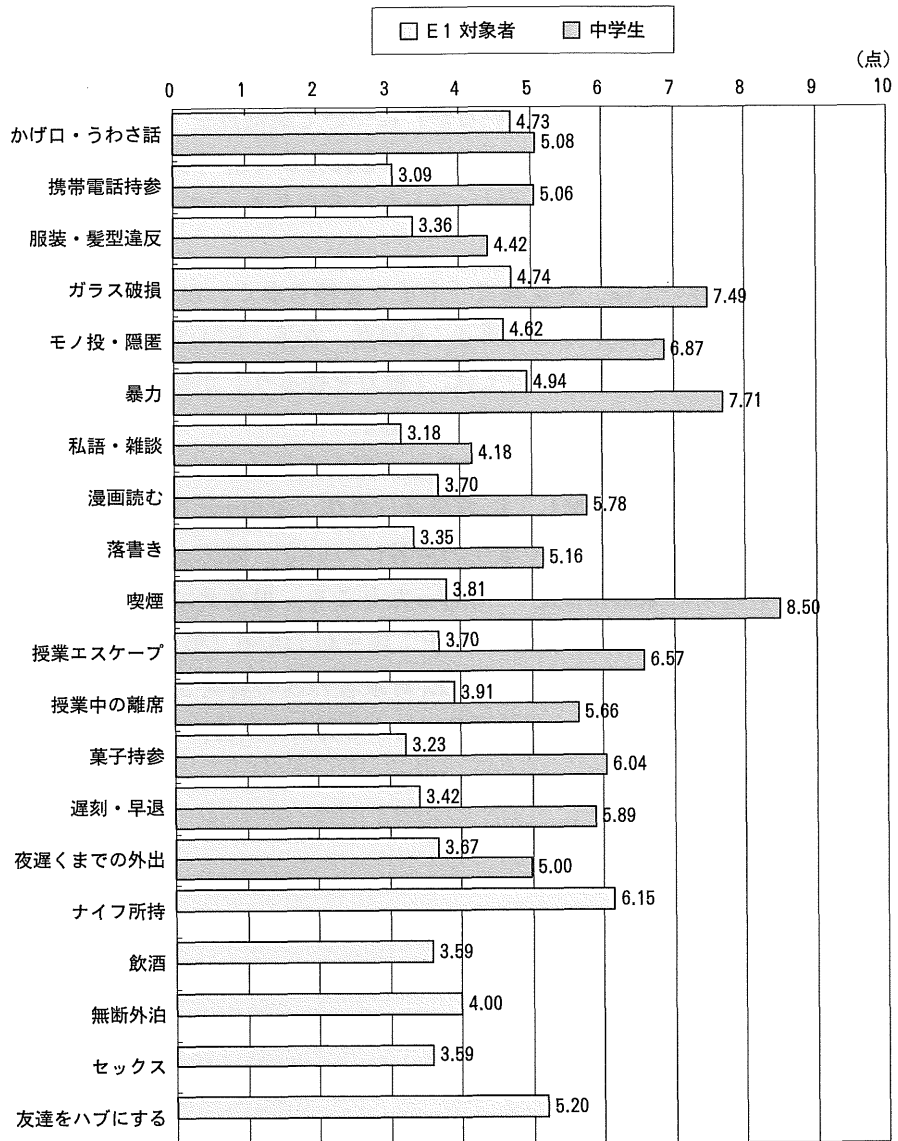


図25 「してはいけない」と感じる度合い (平均点の比較)

表28 「してはいけない」と感じる度合い

		男子			女子			合計		
		E1対象者	中学生	合計	E1対象者	中学生	合計	E1対象者	中学生	合計
かげ口・うわさ話	平均値	4.70	4.65	4.68	4.91	5.65	5.43	4.73	5.08	4.89
	度数	237	143	380	46	106	152	283	249	532
	標準偏差	3.48	2.86	3.26	3.64	2.93	3.17	3.50	2.93	3.25
携帯電話の持参	平均値	3.30	5.06	3.96	1.98	5.05	4.13	3.09	5.06	4.01
	度数	237	143	380	45	106	151	282	249	531
	標準偏差	3.48	3.11	3.45	2.43	3.08	3.22	3.36	3.09	3.38
服装・髪型違反	平均値	3.66	4.41	3.94	1.80	4.42	3.63	3.36	4.42	3.85
	度数	236	143	379	46	106	152	282	249	531
	標準偏差	3.49	2.96	3.32	1.92	2.63	2.71	3.36	2.82	3.16
ガラスなどを壊す	平均値	4.80	7.38	5.77	4.41	7.62	6.65	4.74	7.49	6.02
	度数	237	143	380	46	106	152	283	249	532
	標準偏差	3.48	2.69	3.44	3.46	2.90	3.41	3.47	2.78	3.45
モノを投げる・隠す	平均値	4.68	6.48	5.36	4.30	7.41	6.47	4.62	6.87	5.67
	度数	236	143	379	46	106	152	282	249	531
	標準偏差	3.46	3.00	3.40	3.83	2.83	3.46	3.52	2.96	3.45
暴力を振るう	平均値	4.94	7.22	5.80	4.93	8.36	7.32	4.94	7.71	6.23
	度数	237	143	380	46	106	152	283	249	532
	標準偏差	3.56	2.99	3.53	3.73	2.63	3.38	3.58	2.89	3.56
授業中の私語・雑談	平均値	3.41	3.87	3.58	2.02	4.58	3.81	3.18	4.18	3.65
	度数	237	143	380	46	106	152	283	249	532
	標準偏差	3.47	2.46	3.13	2.37	2.90	2.99	3.35	2.68	3.09
授業中にマンガを読む	平均値	3.87	5.76	4.59	2.80	5.81	4.90	3.70	5.78	4.68
	度数	236	143	379	46	106	152	282	249	531
	標準偏差	3.47	2.81	3.36	2.92	2.93	3.23	3.40	2.86	3.32
落書き	平均値	3.66	5.12	4.21	1.76	5.22	4.17	3.35	5.16	4.20
	度数	236	143	379	46	106	152	282	249	531
	標準偏差	3.41	2.97	3.33	1.96	3.01	3.16	3.30	2.98	3.28
タバコを吸う	平均値	3.97	8.32	5.61	2.98	8.75	7.00	3.81	8.50	6.01
	度数	237	143	380	46	106	152	283	249	532
	標準偏差	3.71	2.93	4.03	3.12	2.56	3.81	3.64	2.78	4.02
授業中、教室から抜け出す	平均値	3.95	6.22	4.81	2.40	7.04	5.66	3.70	6.57	5.05
	度数	235	143	378	45	106	151	280	249	529
	標準偏差	3.48	3.17	3.54	2.48	2.92	3.51	3.38	3.09	3.55
授業中、教室内をうろうろする	平均値	4.16	5.44	4.64	2.63	5.95	4.95	3.91	5.66	4.73
	度数	236	143	379	46	106	152	282	249	531
	標準偏差	3.48	2.90	3.33	2.77	2.98	3.29	3.42	2.94	3.32
お菓子などの持参	平均値	3.42	6.06	4.41	2.30	6.03	4.90	3.23	6.04	4.55
	度数	236	143	379	46	106	152	282	249	531
	標準偏差	3.35	3.11	3.50	2.79	3.05	3.43	3.28	3.08	3.48
勝手に遅刻・早退する	平均値	3.62	5.68	4.39	2.39	6.18	5.03	3.42	5.89	4.58
	度数	237	143	380	46	106	152	283	249	532
	標準偏差	3.52	2.96	3.47	2.79	3.13	3.49	3.44	3.04	3.48
ゲームセンターやカラオケなどで夜遅くまで遊ぶ	平均値	3.83	4.62	4.13	2.80	5.51	4.69	3.67	5.00	4.29
	度数	236	143	379	46	106	152	282	249	531
	標準偏差	3.55	3.14	3.42	3.08	3.19	3.38	3.49	3.19	3.41
ナイフを持ち歩く	平均値	6.23		6.23	5.74		5.74	6.15		6.15
	度数	235		235	46		46	281		281
	標準偏差	3.79		3.79	3.83		3.83	3.80		3.80
お酒を飲む	平均値	3.77		3.77	2.65		2.65	3.59		3.59
	度数	237		237	46		46	283		283
	標準偏差	3.51		3.51	2.91		2.91	3.44		3.44
無断外泊をする	平均値	4.06		4.06	3.67		3.67	4.00		4.00
	度数	237		237	46		46	283		283
	標準偏差	3.58		3.58	3.48		3.48	3.56		3.56
セックスをする	平均値	3.69		3.69	3.04		3.04	3.59		3.59
	度数	236		236	46		46	282		282
	標準偏差	3.48		3.48	2.97		2.97	3.41		3.41
気に食わない友だちをハブにする	平均値	5.14		5.14	5.49		5.49	5.20		5.20
	度数	236		236	45		45	281		281
	標準偏差	3.60		3.60	4.19		4.19	3.70		3.70

(5) 相談しなかったこと (問25) (図26-ア~コ・表29)

10の項目について、中学に通っていたころに相談しなかったかどうか（一般中学生においては調査時点で相談したいかどうか）について確認した。

E₁対象者において、「できれば相談しなかった」又は「少し相談しなかった」と回答した者の割合が多かった項目は、上位から順に、男子は①「コ 受験・進学のこと」(47.0%)、②「ア 勉強のこと」(35.1%)、③「イ クラブ活動のこと」(32.2%)であり、女子は①「コ 受験・進学のこと」(54.3%)、②「キ 家族との関係のこと」(45.7%)、③「カ 友だちとの関係のこと」(43.5%)であった。

また、一般中学生において、「できれば相談しなかった」又は「少し相談しなかった」と回答した者の割合が多かった項目は、上位から順に、男子は①「コ 受験・進学のこと」(79.8%)、②「ケ 成績のこと」(62.3%)、③「ア 勉強のこと」(51.4%)で、女子は①「コ 受験・進学のこと」(81.1%)、②「ケ 成績のこと」(67.0%)、③「ウ 自分の性格のこと」(60.3%)であった。

E₁対象者、一般中学生のいずれにおいても「コ 受験・進学のこと」を相談したいとする割合が一番高かった。

男女別に各項目の回答を「相談しなかった」（「できれば相談しなかった」及び「少し相談しなかった」の合計）と「相談しなくてもよかった」の2項目に統合し、E₁対象者と一般中学生の回答について χ^2 検定を実施したところ、男女共に有意でなかった項目は、「エ 学校の登下校中のこと」、「カ 友だちとの関係のこと」で、男子のみ有意でなかった項目は、「イ クラブ活動のこと」、女子のみ有意でなかった項目は「オ 体の健康のこと」、「ク 先生との関係のこと」で、それ以外の項目は全て有意であった。

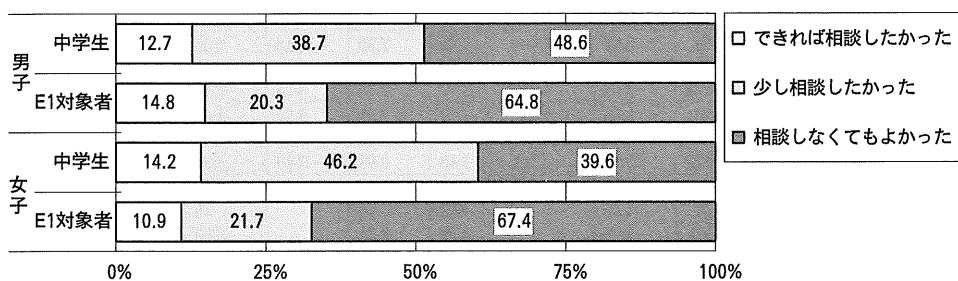


図26-ア 勉強のこと

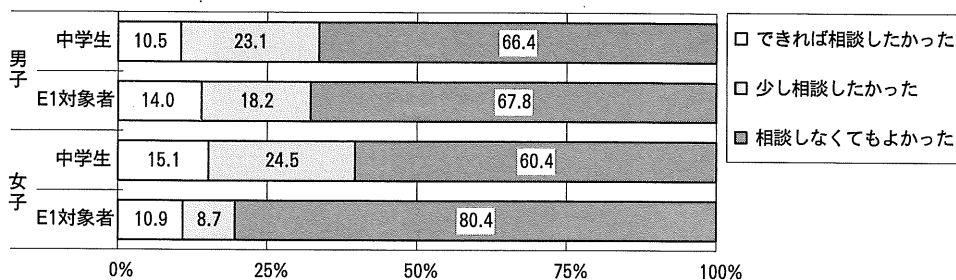


図26-イ クラブ活動のこと

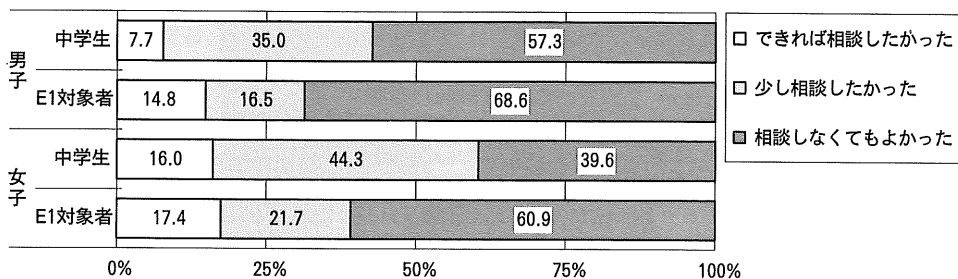


図26-ウ 自分の性格のこと

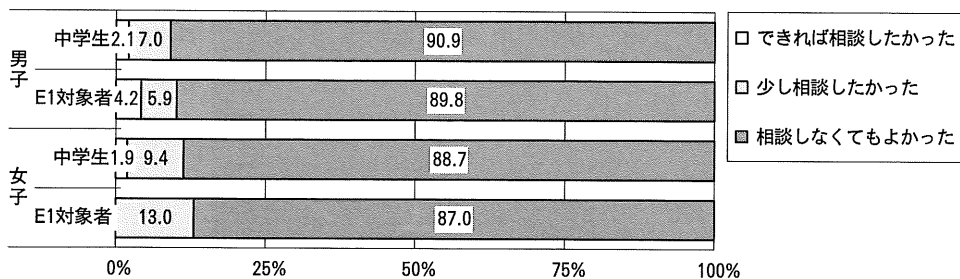


図26-エ 学校の登下校中のこと

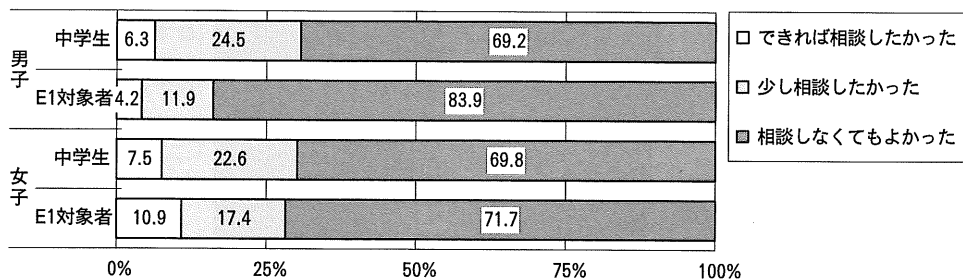


図26-オ 体や健康のこと

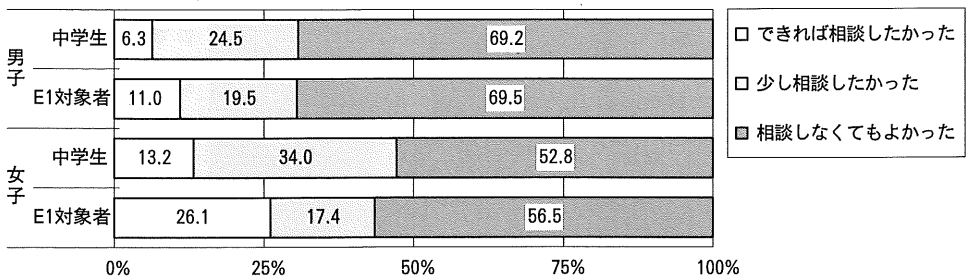


図26-カ 友だちとの関係のこと

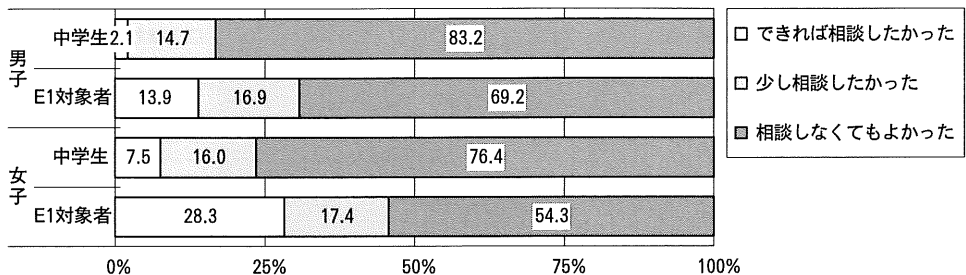


図26-キ 家族との関係のこと

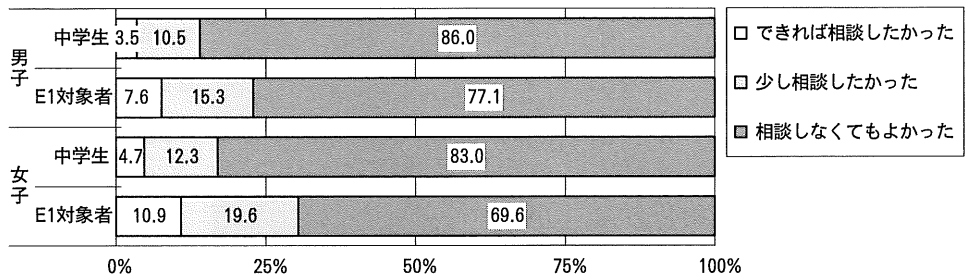


図26-ク 先生との関係のこと

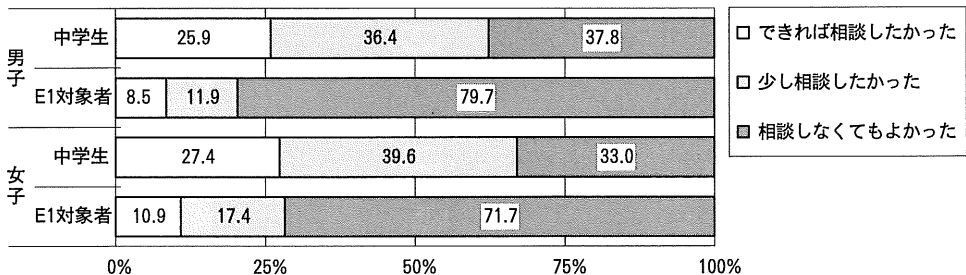


図26-ケ 成績のこと

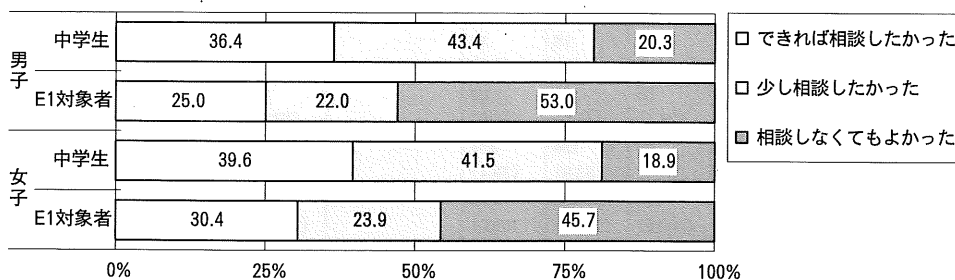


図26-コ 受験・進学のこと

表29 相談したかったこと

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	合計	検定結果 ^(注1)	中学生	E1対象者	合計	検定結果
ア 勉強のこと								
できれば相談したかった	18 (12.7)	35 (14.8)	53 (14.0)	$\chi^2(1)=9.67^{**}$	15 (14.2)	5 (10.9)	20 (13.2)	$\chi^2(1)=9.91^{**}$
少し相談したかった	55 (38.7)	48 (20.3)	103 (27.2)		49 (46.2)	10 (21.7)	59 (38.8)	
相談しなくてもよかった	69 (48.6)	153 (64.8)	222 (58.7)		42 (39.6)	31 (67.4)	73 (48.0)	
合計	142 (100.0)	236 (100.0)	378 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	
イ クラブ活動のこと								
できれば相談したかった	15 (10.5)	33 (14.0)	48 (12.7)	$\chi^2(1)=0.08$	16 (15.1)	5 (10.9)	21 (13.8)	$\chi^2(1)=5.79^*$
少し相談したかった	33 (23.1)	43 (18.2)	76 (20.1)		26 (24.5)	4 (8.7)	30 (19.7)	
相談しなくてもよかった	95 (66.4)	160 (67.8)	255 (67.3)		64 (60.4)	37 (80.4)	101 (66.4)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	
ウ 自分の性格のこと								
できれば相談したかった	11 (7.7)	35 (14.8)	46 (12.1)	$\chi^2(1)=4.96^*$	17 (16.0)	8 (17.4)	25 (16.4)	$\chi^2(1)=5.83^*$
少し相談したかった	50 (35.0)	39 (16.5)	89 (23.5)		47 (44.3)	10 (21.7)	57 (37.5)	
相談しなくてもよかった	82 (57.3)	162 (68.6)	244 (64.4)		42 (39.6)	28 (60.9)	70 (46.1)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	
エ 学校の登下校中のこと								
できれば相談したかった	3 (2.1)	10 (4.2)	13 (3.4)	$\chi^2(1)=0.12$	2 (1.9)	0 (0.0)	2 (1.3)	$\chi^2(1)=0.09$
少し相談したかった	10 (7.0)	14 (5.9)	24 (6.3)		10 (9.4)	6 (13.0)	16 (10.5)	
相談しなくてもよかった	130 (90.9)	212 (89.8)	342 (90.2)		94 (88.7)	40 (87.0)	134 (88.2)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

オ 体や健康のこと								
できれば相談したかった	9 (6.3)	10 (4.2)	19 (5.0)	$\chi^2(1)=11.30^{**}$	8 (7.5)	5 (10.9)	13 (8.6)	$\chi^2(1)=0.06$
少し相談したかった	35 (24.5)	28 (11.9)	63 (16.6)		24 (22.6)	8 (17.4)	32 (21.1)	
相談しなくてもよかった	99 (69.2)	198 (83.9)	297 (78.4)		74 (69.8)	33 (71.7)	107 (70.4)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	
カ 友だちとの関係のこと								
できれば相談したかった	9 (6.3)	26 (11.0)	35 (9.2)	$\chi^2(1)=0.003$	14 (13.2)	12 (26.1)	26 (17.1)	$\chi^2(1)=0.18$
少し相談したかった	35 (24.5)	46 (19.5)	81 (21.4)		36 (34.0)	8 (17.4)	44 (28.9)	
相談しなくてもよかった	99 (69.2)	164 (69.5)	263 (69.4)		56 (52.8)	26 (56.5)	82 (53.9)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	
キ 家族との関係のこと								
できれば相談したかった	3 (2.1)	33 (13.9)	36 (9.5)	$\chi^2(1)=9.22^{**}$	8 (7.5)	13 (28.3)	21 (13.8)	$\chi^2(1)=7.40^*$
少し相談したかった	21 (14.7)	40 (16.9)	61 (16.1)		17 (16.0)	8 (17.4)	25 (16.4)	
相談しなくてもよかった	119 (83.2)	164 (69.2)	283 (74.5)		81 (76.4)	25 (54.3)	106 (69.7)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	
ク 先生との関係のこと								
できれば相談したかった	5 (3.5)	18 (7.6)	23 (6.1)	$\chi^2(1)=4.49^*$	5 (4.7)	5 (10.9)	10 (6.6)	$\chi^2(1)=3.49$
少し相談したかった	15 (10.5)	36 (15.3)	51 (13.5)		13 (12.3)	9 (19.6)	22 (14.5)	
相談しなくてもよかった	123 (86.0)	182 (77.1)	305 (80.5)		88 (83.0)	32 (69.6)	120 (78.9)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	
ケ 成績のこと								
できれば相談したかった	37 (25.9)	20 (8.5)	57 (15.0)	$\chi^2(1)=67.73^{**}$	29 (27.4)	5 (10.9)	34 (22.4)	$\chi^2(1)=19.45^{**}$
少し相談したかった	52 (36.4)	28 (11.9)	80 (21.1)		42 (39.6)	8 (17.4)	50 (32.9)	
相談しなくてもよかった	54 (37.8)	188 (79.7)	242 (63.9)		35 (33.0)	33 (71.7)	68 (44.7)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	
コ 受験・進学のこと								
できれば相談したかった	52 (36.4)	59 (25.0)	111 (29.3)	$\chi^2(1)=39.44^{**}$	42 (39.6)	14 (30.4)	56 (36.8)	$\chi^2(1)=11.68^{**}$
少し相談したかった	62 (43.4)	52 (22.0)	114 (30.1)		44 (41.5)	11 (23.9)	55 (36.2)	
相談しなくてもよかった	29 (20.3)	125 (53.0)	154 (40.6)		20 (18.9)	21 (45.7)	41 (27.0)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 検定結果は「できれば相談したかった」と「少し相談したかった」の回答数を合算した上実施したものである。

注2 **p<.01, *p<.05

3 携帯電話・インターネットの使用状況 (E₁ 対象者のみ)

(1) 携帯電話の所持状況 (問27-1) (表30)

男子で235人中204人 (86.8%), 女子で45人中44人 (97.8%) の者が自分専用で携帯電話を所持していたと回答した。男女別の所持状況の回答について χ^2 検定を実施したところ、有意ではなかった ($\chi^2(2) = 4.52$, n.s.)。

表30 携帯電話の所持状況

	男子	女子	計
自分専用でもっていた	204 (86.8)	44 (97.8)	248 (88.6)
家族と共有でもっていた	4 (1.7)	0 (0.0)	4 (1.4)
持っていなかった	27 (11.5)	1 (2.2)	28 (10.0)
合計	235 (100.0)	45 (100.0)	280 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

(2) 携帯電話を使用して変化したこと (問27-2) (表31・図27)

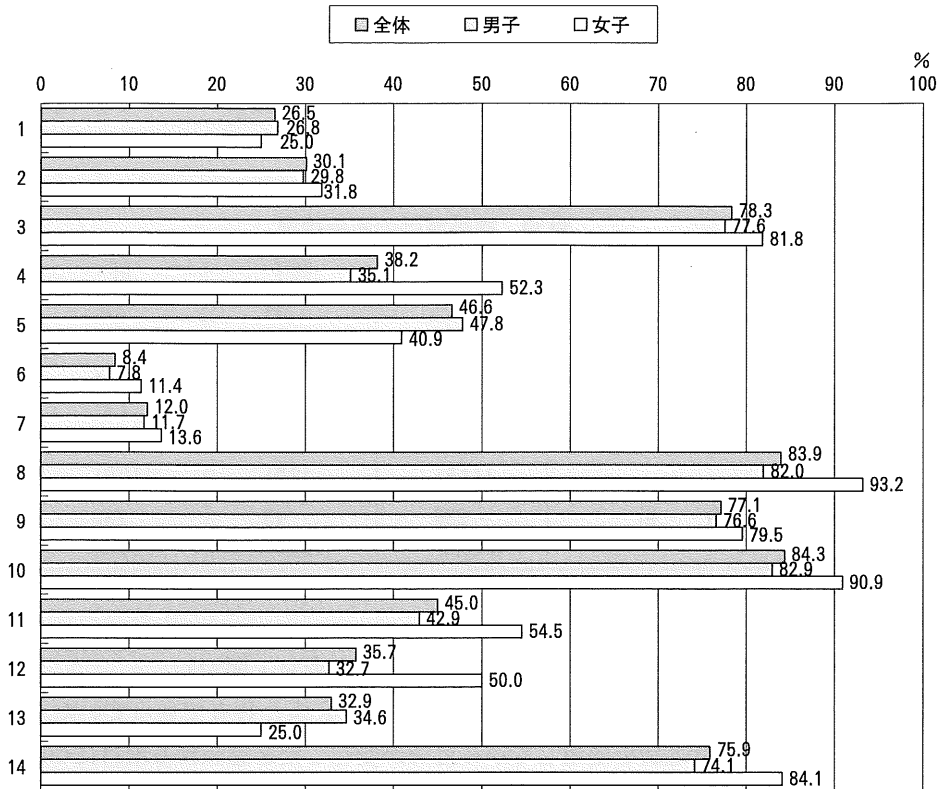
3(1)の設問で「自分専用でもっていた」又は「家族と共有でもっていた」と回答した者を対象に、携帯電話を使用してから自分が変化したと思われる項目について該当するもの全てを選択してもらった。有効回答者数は249名 (男子205名, 女子44名) だった。

表31 携帯電話を使用して変化したこと

	男子	女子	合計
1 家族と直接会話することがふえた	55 (26.8)	11 (25.0)	66 (26.5)
2 家族と直接会話することがへった	61 (29.8)	14 (31.8)	75 (30.1)
3 友だちの数がふえた	159 (77.6)	36 (81.8)	195 (78.3)
4 自分を理解してくれる人がふえた	72 (35.1)	23 (52.3)	95 (38.2)
5 エッチな情報に触れる機会が多くなった	98 (47.8)	18 (40.9)	116 (46.6)
6 命の危険を感じるようになった	16 (7.8)	5 (11.4)	21 (8.4)
7 マナーを気にするようになった	24 (11.7)	6 (13.6)	30 (12.0)
8 メールを気にするようになった	168 (82.0)	41 (93.2)	209 (83.9)
9 おそくまで外出することがふえた	157 (76.6)	35 (79.5)	192 (77.1)
10 ねる時間がおそくなった	170 (82.9)	40 (90.9)	210 (84.3)
11 自分の部屋にいる時間がふえた	88 (42.9)	24 (54.5)	112 (45.0)
12 勉強をする時間がへった	67 (32.7)	22 (50.0)	89 (35.7)
13 お金の使い方を気にするようになった	71 (34.6)	11 (25.0)	82 (32.9)
14 持ち歩かないと不安になるようになった	152 (74.1)	37 (84.1)	189 (75.9)
有効回答者数	205	44	249

注1 () 内は、比率である。

注2 重複選択である。



注：左縦軸数字は選択項目の数字である。

図27 携帯電話を使用して変化したこと（問27-2）

男子においては、①「10 ねる時間がおそくなった」(82.9%)、②「8 メールを気にするようになった」(82.0%)、③「3 友だちの数がふえた」(77.6%)の順で多く回答されている。

女子においては、①「8 メールを気にするようになった」(93.2%)、②「10 ねる時間がおそくなった」(90.9%)、③「14 携帯を持ち歩かないと不安になるようになった」(84.1%)の順で多く回答されている。女子群で全体の半数以上が選択している項目として「11 自分の部屋にいる時間がふえた」(54.5%)、「4 自分を理解してくれる人がふえた」(52.3%)、「12 勉強をする時間がへった」(50.0%)があった。

(3) 携帯電話による1日の平均メール使用時間（問27-3）（図28・表32）

3(1)の設問で「自分専用でもっていた」又は「家族と共有でもっていた」と回答した者を対象に、携帯電話での1日平均メール使用時間について確認したところ、全体の74.9%（男子：72.6%，女子：86.0%）の者が「3時間以上」使用していると回答した。また、男女の回答について χ^2 検定を実施したところ、有意ではなかった（ $\chi^2(2) = 4.50, n.s.$ ）。

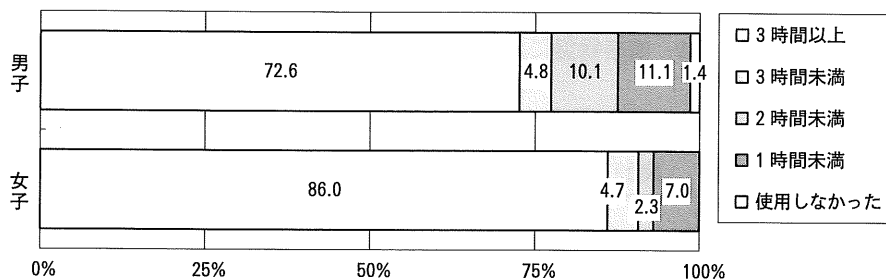


図28 携帯電話による1日の平均メール使用時間（問27-3）

表32 携帯電話による1日の平均メール使用時間

	男子	女子	計
3時間以上	151 (72.6)	37 (86.0)	188 (74.9)
3時間未満	10 (4.8)	2 (4.7)	12 (4.8)
2時間未満	21 (10.1)	1 (2.3)	22 (8.8)
1時間未満	23 (11.1)	3 (7.0)	26 (10.4)
使用しなかった	3 (1.4)	0 (0.0)	3 (1.2)
合計	208 (100.0)	43 (100.0)	251 (100.0)

注（ ）内は、構成比である。

(4) 携帯電話による1日の平均電話使用時間（問27-4）（図29・表33）

3(1)の設問で「自分専用でもっていた」又は「家族と共有でもっていた」と回答した者を対象に、携帯電話での1日平均電話使用時間について確認した。男女の回答について χ^2 検定を実施したところ、有意であったため（ $\chi^2(4) = 25.12, p < .01$ ），残差分析を実施したところ、男子は女子に比べ「1時間未満」が、女子は男子に比べ「3時間以上」が多く回答されている。

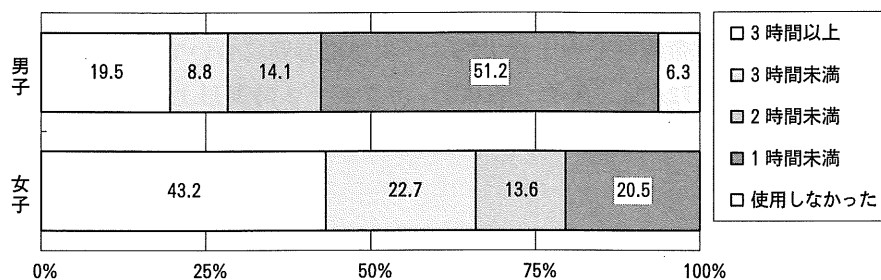


図29 携帯電話による1日の平均電話使用時間 (問27-4)

表33 携帯電話による1日の平均電話使用時間

	男子	女子	計
3時間以上	40 (19.5)	19 (43.2)	59 (23.7)
3時間未満	18 (8.8)	10 (22.7)	28 (11.2)
2時間未満	29 (14.1)	6 (13.6)	35 (14.1)
1時間未満	105 (51.2)	9 (20.5)	114 (45.8)
使用しなかった	13 (6.3)	0 (0.0)	13 (5.2)
合計	205 (100.0)	44 (100.0)	249 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

(5) 学校以外でのインターネットの利用状況 (問28-1) (図30・表34)

全体においては、4人に3人の割合(76.7%)で、学校以外でインターネットを利用していたと回答し、そのうち、男女共に「携帯電話で利用していた」が最も多かった(男子:63.2%, 女子73.0%)。

また、男女の回答について χ^2 検定を実施したところ、有意ではなかった($\chi^2(3) = 6.36, n.s.$)。

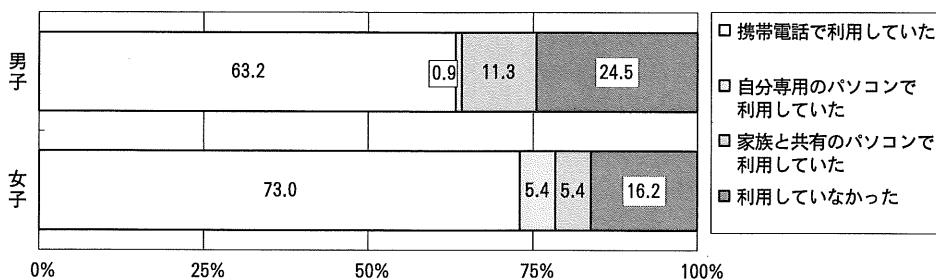


図30 インターネットの利用状況 (問28-1)

表34 インターネットの利用状況

	男子	女子	計
携帯電話で利用していた	134 (63.2)	27 (73.0)	161 (64.7)
自分専用のパソコンで利用していた	2 (0.9)	2 (5.4)	4 (1.6)
家族と共有のパソコンで利用していた	24 (11.3)	2 (5.4)	26 (10.4)
利用していなかった	52 (24.5)	6 (16.2)	58 (23.3)
合計	212 (100.0)	37 (100.0)	249 (100.0)

注 () 内は、構成比である。

(6) インターネットの1日平均使用時間 (問28-2) (図31・表35)

3(5)の設問で、「利用していなかった」以外の項目を回答した者を対象に、1日の平均インターネット使用時間について確認した。有効回答者数は188名(男子158名、女子30名)だった。

男女共に「3時間以上」が最も多く回答された(男子:34.8%, 女子:46.7%)。

また、男女の回答について χ^2 検定を実施したところ、有意ではなかった($\chi^2(3) = 5.94, n.s.$)。

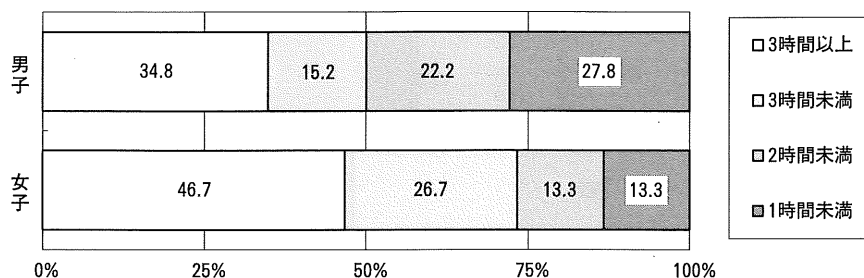


図31 インターネットの1日平均使用時間 (問28-2)

表35 1日のインターネットの平均使用時間

	男子	女子	計
3時間以上	55 (34.8)	14 (46.7)	69 (36.7)
3時間未満	24 (15.2)	8 (26.7)	32 (17.0)
2時間未満	35 (22.2)	4 (13.3)	39 (20.7)
1時間未満	44 (27.8)	4 (13.3)	48 (25.5)
合計	158 (100.0)	30 (100.0)	188 (100.0)

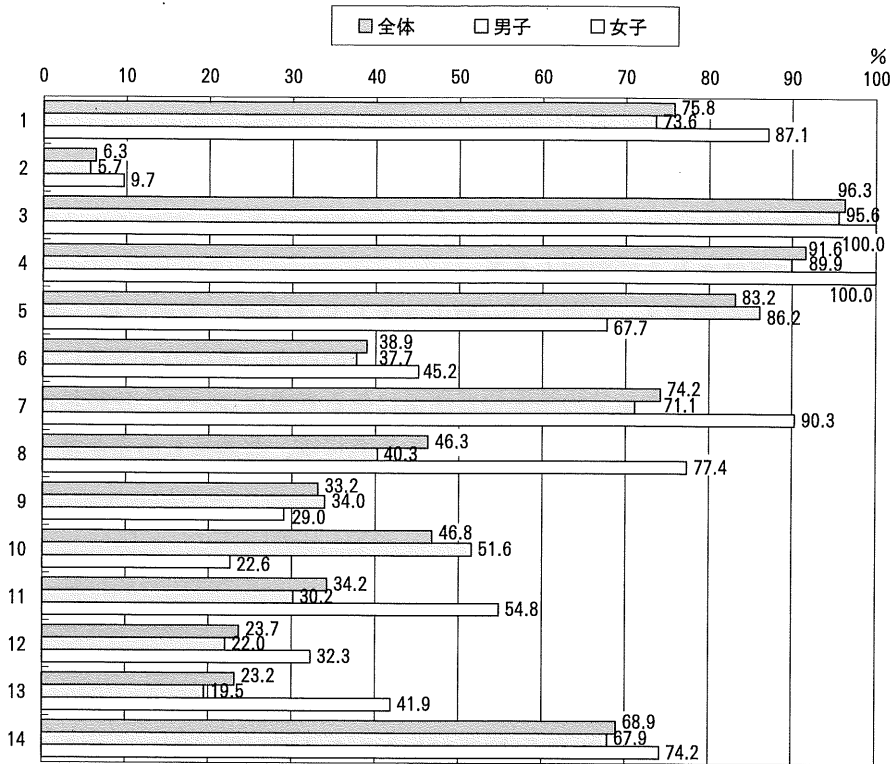
注 () 内は、構成比である。

(7) インターネットの使用目的 (問28-3) (図32・表36)

3(5)の設問で、「利用していなかった」以外の項目を回答した者を対象に、インターネットの使用目的について該当するもの全てを選択してもらった。有効回答者数は190名(男子159名, 女子31名)だった。

男子においては、回答数が多い順に「3 音楽をきいたり, ダウンロードする」(95.6%), 「4 着メロ(着うた)や待ち受け画面などをダウンロードする」(89.9%), 「5 ゲームをする」(86.2%)となった。

女子においては、「3 音楽をきいたり, ダウンロードする」, 「4 着メロ(着うた)や待ち受け画面などをダウンロードする」については全員が選択していた。その他にも、「7 けいじ板やチャットを見たり, 書き込みする」(90.3%), 「1 メールをする」(87.1%)が高い割合で選択されている。



注：左縦軸数字は選択項目の数字である。

図32 インターネットの使用目的 (問27-3)

表36 インターネットの使用目的

	男子	女子	合計
1 メールをする	117 (73.6)	27 (87.1)	144 (75.8)
2 勉強・宿題・進路について調べる	9 (5.7)	3 (9.7)	12 (6.3)
3 音楽をきいたり，ダウンロードする	152 (95.6)	31 (100.0)	183 (96.3)
4 着メロ(着うた)や待ち受け画面などをダウンロードする	143 (89.9)	31 (100.0)	174 (91.6)
5 ゲームをする	137 (86.2)	21 (67.7)	158 (83.2)
6 オークションや買い物をする	60 (37.7)	14 (45.2)	74 (38.9)
7 けいじ板やチャットを見たり，書き込みする	113 (71.1)	28 (90.3)	141 (74.2)
8 自分のホームページを作成，更新する	64 (40.3)	24 (77.4)	88 (46.3)
9 ニュース，天気よほう，うらないなどを見る	54 (34.0)	9 (29.0)	63 (33.2)
10 エッチなサイトの情報を見る	82 (51.6)	7 (22.6)	89 (46.8)
11 出会い系サイトの情報を見る	48 (30.2)	17 (54.8)	65 (34.2)
12 はんざい，自殺に関する情報を見る	35 (22.0)	10 (32.3)	45 (23.7)
13 薬物(ドラッグ)に関する情報を見る	31 (19.5)	13 (41.9)	44 (23.2)
14 目的を持たずにてきとうに見る	108 (67.9)	23 (74.2)	131 (68.9)
有効回答者数	159	31	190

注1 ()内は，比率である。

注2 重複選択である。

V 考察

昨今の社会・経済の大きな変動に伴う家庭や地域社会の多様化・複雑化は、青少年の生活に強い影響を与えている。特に、中学時代の少年は、心身共に急速な変化を遂げる中で自己確立を模索するため、心理的に安定と動揺の振幅が大きく、周囲からの影響が意識や行動面に如実に反映される時期でもある。

そのような背景を踏まえ、本稿では一般中学生と E₁ 対象者の学習関係、学校生活関係、家庭生活関係、規範意識といった領域に関する意識のほか、現代の青少年にとって絶対的な必需品ともいえる携帯電話等の情報機器関係に係る意識について、比較検討を行った結果、中学年齢時に少年が直面する現実社会への意識には、共通点もあるが多くの相違点もあることが認められた。

1 学習関係

勉強時間については、一般中学生の予習・復習に取り組む者の割合が全体の約 4 割しかないという結果は注目に値する。また、それより更に E₁ 対象者の 8 割以上の者が、勉強時間を設けていない事実が認められた。

また、E₁ 対象者の 7 割弱の者が「(勉強がわからなくて) 困ったことがあった」と回答し、一般中学生も同様傾向にあったが、「困ったことがなかった」と答えた者については、E₁ 対象者の方が一般中学生に比して極めて高い比率で存在している。これは、他の関連設問に対する回答結果も踏まえると、勉強する内容が理解できたから困っていなかったというより、むしろ勉強ができないことに対する危機感・焦燥感に乏しく、その結果「(勉強はできないが) 困ったことはなかった」と答えたものと推察される。

さらに、E₁ 対象者は「勉強がわからないとき、主に何に頼っていたか」の設問に対し、「そのままにしておいた」と回答した者が男女共に 7 割を超え、一般中学生とは明らかな相違を示している。また、「学習塾に通っていたか」については、最近の調査報告によれば一般中学生のほぼ 7 割の者が「塾に通っている」という結果(文部科学省, 2005a)が出ているが、E₁ 対象者にあっては、男女とも約 9 割弱の者が「通っていなかった」という結果となった。

このように、E₁ 対象者が学習意欲に乏しい原因は、資質面、経済面、交友面など様々な要因が関わっていることが予想される。しかし、少年院に収容された少年が、院内での教科教育により、当初は理解できずに戸惑う少年でも、理解が深まり学力が向上することで学習・生活意欲が向上するという事例も多い。そのため、学習意欲の乏しい者について中学校在学時における学習機会の付与、学習指導の重要性について、今後改善・工夫の取り組みが要請される場所である。

2 学校生活関係

この領域は、生徒間の自主的活動、生活態度、対人関係や疲労感など中学校内における生活の在り方に関する設問で構成されている。

クラブ活動については、一般中学生、E₁対象者の男女共に、回答結果に有意差は認められなかった。一般中学生、E₁対象者共に「とても楽しい（楽しかった）」、「大体楽しい（楽しかった）」と答えた者の割合が、全体の約7割を占め、おしなべて「クラブ活動は楽しい」と肯定的な受け止め方をしている。ただし、E₁対象者のうち男子で68名（28.7%）、女子で19名（41.3%）の者が未加入であった。

E₁対象者のクラブ活動への参加が少ない理由については、調査結果から直接的に読み取ることができなかったが、学校生活への適応性と関連があるように思われる。現在のクラブ活動への義務的参加が、先輩・後輩の人間関係が形成されるという利点があるとともに、そこで様々なあい路やあつれきが生じるというデメリットもあるという現状を踏まえた上で、今後の中学校における生徒の実情に応じた、きめ細かいクラブ活動の在り方が検討されるべきであろう。

一般中学生は、クラスの係や生徒会委員など公的な活動に参加することに、半数以上の者が前向きの姿勢を示しているが、E₁対象者は、してみたいと「思わなかった」又は「あまり思わなかった」と回答する者が有意に多く、消極的姿勢を示している。

また、「学校に行くのがいやになることがある（あった）か」という設問に対して、一般中学生では、いやになることがある者とそうでない者との割合がほぼ半々であったのに対し、E₁対象者においては、男子で約6割弱、女子で約9割近くの者が「よくあった」又は「少しあった」と答え、これについても学校に対し消極的な姿勢が見られる。実際の学校生活においては、勉強・友人関係等の難しさや進路等の問題に直面し、プレッシャーを感じることも多くなるため、生徒に悩みや困りごとが生じた場合、学校生活が嫌にならないよう、学校側として対応策を立てることが必要であろう。

最近の学校生活においては、食事、あいさつ、マナー等の基本的な生活習慣の涵養が低下していることが取り上げられている（文部科学省，2005b）が、「学校で節度のある生活ができて（いた）か」の設問に対しては、E₁対象者の男女共に9割を超える者が「できていなかった」又は「あまりできていなかった」と回答しており、一般中学生とは明らかな違いが認められた。ただし、これは少年院収容に伴う後悔と反省の意識から「できていなかった」と強く反応していることに起因していることが予想される。

友人関係については、一般中学生もE₁対象者も「仲が良い（良かった）」と答えている者の割合が高い。中学年齢の少年は、交友関係の中で自己形成を行っていくことから、一般的に特段の事情がない限りは、友人に対し肯定的な回答が多くなりやすい傾向にあると言われている（総務庁青少年対策本部，1999）。特に、E₁対象者において「とても仲が良かった」とする者が全体の約5割もおり、「仲間を大事にする」という中学学齢期の少年の特徴が表れているものと考えられる。しかし、一般中学生とは異なり、E₁対象者の交

友関係はいわゆる「不良集団・非行グループ」も含まれており、健全な交友関係は少ないと思われ、自分を相手にしてくれる仲間を大事にし、そこを拠りどころとせざるを得ないE₁対象者の人間関係の実態が見え隠れしているのではないかと考えられる。

困ったときに誰に相談しているかを尋ねた設問については、一般中学生、E₁対象者共に「友だち」を優先的に選択している。学校側では相談体制を整えているにもかかわらず、先生を選択する割合は驚くほど低いという結果は、今後の生徒指導上、示唆に富むものとなった。また、E₁対象者は、一般中学生に比し、「親・家族」を相談相手として選択している割合が有意に低かった。

3 家庭生活関係

まず、睡眠時間が6時間未満の者は、男子にあって4割強、女子にあっては6割弱の高い比率となっている。その一方で、9時間以上の者が一般中学生に比べて極めて高い比率を示すなど、両極端に分かれている。最近の中学生が暮らす生活環境は、コンビニ、カラオケボックス、ゲームセンター、飲食店等の終日営業が多くなり、昼夜の区別がつきにくくなる、いわゆる夜型になりつつある中で、E₁対象者においては、夜間睡眠をよくとらない者と、夜眠らずに昼間時に眠るなど不規則な状況にあると考えられる。

ねむい・だるいと感じている(いた)とする者は、一般中学生、E₁対象者共に高い比率となっていることがわかった。ただし、前設問事項に対する回答から、E₁対象者にあっては睡眠時間の確保に大きな偏りがあることが認められ、ねむい・だるいと感じている要因が一般中学生とは異なることが推測される。また、1日の食事の摂り方について尋ねたところ、E₁対象者は、1日3回の食事を「あまりとらなかった」又は「とらなかった」と答えた者の割合が一般中学生に比べ有意に高いことが認められ、食生活の乱れが顕著に現れている。

このようなE₁対象者の傾向は、家庭で規則正しい生活が「あまりできていなかった」又は「できていなかった」と回答した者が、男女共に約9割を占めている事実からも理解できよう。

「家の人から生活上の注意を受ける(受けた)か」という設問については、一般中学生、E₁対象者の男女共に「よく受ける(受けた)」と答える者の割合が一番高かった。ただし、一般中学生が受ける注意と、E₁対象者が受ける注意の内容は少々異なっているのではないかと推測される場所である。

E₁対象者は、家庭内における会話が少ない傾向にあることが本調査から認められ、「家族の人と話し合い」、「家族同士のあいさつ」の設問に対し、「あまりしなかった」、又は「しなかった」と回答した者の割合が、男子で約5割、女子で約6割近くに達しており、一般中学生とは大きな隔たりを示している。家族間の日常会話やあいさつは、家族一人ひとりの起床、食事、就寝時間等の生活リズムが異なると行われなくなるため、このようなE₁対象者の数値結果が、家族構成の実態を反映したものなのか、あるいは、家族関係の

不良状態からきているのかが興味深いところである。

ただし、「家事の手伝い」については、一般中学生、 E_1 対象者に有意差は認められず、 E_1 対象者であっても約6割近くの者が家事の手伝いをしていることが明らかとなった。子供の家事手伝いは家族間の役割や分担として行なわれることが多く、男子においても家事の重要性が指摘されており、ささやかな家事手伝いであっても本人の自主性や責任感を涵養し、家庭生活の自覚を促す働きがあると考えられる（総務庁青少年対策本部、2000）ことからすれば、この結果から、まだまだ家族関係を繋ぎ止める何らかの方策を見出せるのではないかと思われる。

E_1 対象者において、帰宅後、「読書をしていたか」の設問に対し、「あまりしなかった」又は「しなかった」と回答した者は男子で約7割弱、女子で約8割となっているが、むしろ、ここでは E_1 対象者でも「ときどきしていた」以上の者が男子で3人に1人、女子で5人に1人もいたという事実のほうが、今後の読書指導を進める上で注目に値する。

4 規範意識関係

規範意識の強さを見る一つの項目として、「友達から間違っことを誘われたら、断ることができる（できた）か」を尋ねた。一般に中学生年齢の迷惑行為や不良行為は警察補導やぐ犯の対象になりやすく、複数の仲間との交友関係の中で引き起こされることが多い。これは思春期の青少年が交友関係の中に自分の役割や居場所を求める一方で、単独ではできないことでも、集団の中では雷同・追従した結果、安易に流れやすい傾向があると指摘されている（総務庁青少年対策本部、1999）。設問に対し一般中学生にあっては、「だいたいできている」又は「いつもできる」と答えた者の比率がかなり高い一方で、 E_1 対象者では「あまりできなかった」又は「できなかった」の比率が約8割前後と極めて高い値を示しており、両群に明らかな差異があることが認められた。

また、「出会い系サイト」、「薬物（シンナー類）」などが危険であるかどうかの認識程度について尋ねたところ、一般中学生においては、「よく知っている」又は「大体知っている」と答えた者の割合が男女共に9割を示している。これは、出会い系サイトやシンナー等の薬物を日常で直接的に経験した者は少ないものの、知識レベルで理解している結果であろう。

他方、 E_1 対象者においても「よく知っていた」又は「大体知っていた」と答えた者が多かったが、この場合、出会い系サイトや薬物使用を実際に経験した者が一般中学生より多いことが推測され、危険なものであることを意識しつつ手を出した結果であると思われる。ただし、出会い系サイトやシンナー等への興味本位の接近が、非行や犯罪の誘因になりやすいところ、特に、 E_1 対象者の女子における、出会い系サイトや薬物を危険だと感じる意識は、一般中学生の女子と比べると有意に低いことがわかった。

次に、規範意識のレベルを計る指標として、一般中学生と同一項目を15項目、 E_1 対象者のみに対して5項目の合計20項目を掲げ、各項目について最低0点から最高10点までの

数値で規範意識の強弱を尋ねている。点数が高いほど「してはいけない」という意識が強く、数値が低ければ該当行為について意識も弱く、安易に流されやすいことを示唆している。

一般中学生と E₁ 対象者との共通項目について見ると、一般中学生にとって6点以上の数値を示した項目は、平均点の高い順に「喫煙」、「暴力」、「ガラス破損」、「モノ投・隠匿」、「エスケープ」となっている。これらについて E₁ 対象者との数値を比較したところ、喫煙：4.69点、暴力：2.77点、ガラス破損：2.75点、モノ投・隠匿：2.25点、エスケープ：2.87点の差で、いずれも E₁ 対象者群の方が低い数値を示した。特に、「喫煙」については、一般中学生が最大値（8.50点）を示しているのに対して、E₁ 対象者は中位値（3.81点）に止まり、とりわけ女子間においてその差が最大（点差5.77点）となっており、E₁ 対象者の喫煙に対する規範意識の低さが如実に現れた結果となった。

E₁ 対象者のみ対象とした質問項目について見ると、平均点の高い順に、①「ナイフ所持」、②「ハブにする」、③「暴力」、④「ガラス破損」、⑤「かけ口」となっているが、②「ハブにする」については、E₁ 対象者293名のうち不良生徒集団、地域不良集団などに加入している者が5割（152名）を超えている状況（法務省司法法制調査部、2006）からすれば、E₁ 対象者が仲間や集団から無視されたり、疎外されることに対する危機意識の表れと受け止めることができるであろう。

5 相談対象事項

中学校生活の中で、中学生にとって重要と思われる事項10項目について、誰かにどの程度相談したい（したかった）かについて尋ねたところ、男女共に有意差が認められた項目は、「勉強のこと」、「自分の性格のこと」、「家族との関係のこと」、「成績のこと」、「受験・進学のこと」であった。

「勉強のこと」については、一般中学生と E₁ 対象者との間において男女とも正反対の傾向が認められた。つまり一般中学生にあっては「少し相談したい」又は「できれば相談したい」と答えた者の割合は、男子で約5割、女子で約6割を超えているのに対し、E₁ 対象者の方は「相談しなくてもよかった」が男女とも6割を超えている。これは学習関係でも触れた「予習・復習をしない」、「勉強しない」と同様の傾向が見られ、初めから勉強に関する相談を諦めてしまっている状況が推測される。

「自分の性格のこと」については、一般中学生に対して E₁ 対象者は、「相談しなくてもよかった」と回答した者の割合が有意に高い。

「体や健康のこと」に関しては、一般中学生と E₁ 対象者の男子間においては有意差が認められたものの、全体的には男女共に「しなくともよい（よかった）」が高い割合を占めている。

「家族との関係のこと」については、一般中学生と E₁ 対象者の男女共に有意差が認められ、E₁ 対象者は「相談したかった」と答えた者が比較的多い結果となっており、家族と

の人間関係で悩む非行少年の実像をうかがい知ることができよう。

「先生との関係のこと」については、一般中学生と E₁ 対象者の男子間においては有意差が認められたものの、全体的には「相談しなくともよい（かった）」と答える者が高い割合を示し、先生との関係について誰かに相談するという意識は共に低いことがうかがえる。

「成績のこと」、「受験・進学のこと」については、一般中学生と E₁ 対象者との間で、男女共に有意差を認めることができた。「成績のこと」では「相談しなくともよい（よかった）」と答えた者が、一般中学生では約 3 割であるのに対し、E₁ 対象者は 7 割から 8 割近くに達している。また、「受験・進学のこと」については、E₁ 対象者では「相談したかった（「できれば相談したかった」と「少し相談したかった」の合計）」と「相談しなくともよかった」と答えた者の割合が半々であった反面、一般中学生は、全体の 8 割前後の者が「相談したい」と思っていることが認められた。

6 インターネット・携帯電話

(1) 携帯電話について

E₁ 対象者の携帯電話の所持率は、極めて高く、男子にあっては 9 割近く、また、女子ではほぼ全員（回答者 45 人中 44 名）が所持している。

2004 年から 2006 年における他の調査機関や地方自治体調査によるデータでは、一般中学生の所持率は、約 40% から 70% 前後と調査結果に幅があるものの、そのいずれの結果においても、本調査の E₁ 対象者の所持率と大きな差が見られる。

「青少年の意識・行動と携帯電話に関する調査研究」（警察庁少年課，2002）における、一般中学生の携帯電話所持率が 20.4%，非行中学生男子の所持率が 52.4% という結果からも、本調査結果に妥当性があるといえよう。

携帯電話を使用して変化したことについて尋ねたところ、E₁ 対象者において最も多く回答されたのは、「ねる時間がおそくなった」であり、次いで、「メールを気にするようになった」、「友だちの数がふえた」、「おそくまで外出することがふえた」、「持ち歩かないと不安になるようになった」の順に多く回答されている。

「青少年の社会意識及び活動に関する調査」（茨城県，2004）における一般中学生の選択結果と比較したところ（参考資料）、回答数の比率順位が大きく相違しているほか、E₁ 対象者の「おそくまで外出することがふえた」の項目は、一般中学生と比較して突出して高い順位になっていることがわかった。

また、一般中学生において選択する比率の高かった「お金の使い方を気にするようになった」は、E₁ 対象者にとってはあまり意識されていない結果となった。

参考資料 携帯電話使用で変化したこと

順位	一般中学生	E1対象者
1位	友だちの数がふえた (48.3%)	ねる時間がおそくなった (84.3%)
2位	メールを気にするようになった (47.6%)	メールを気にするようになった (83.9%)
3位	お金の使い方を気にするようになった (40.1%)	友だちの数がふえた (78.3%)
4位	ねる時間がおそくなった (23.9%)	おそくまで外出することがふえた (77.1%)
5位	持ち歩かないと不安になるようになった (22.8%)	持ち歩かないと不安になるようになった (75.9%)

注：() は複数回答による各群の回答数の構成比である。

次に、携帯電話によるメール使用時間については、男女間の有意差は認められなかったが、一日に3時間以上メールを打っている者が高い割合を示している。また、携帯電話による通話時間については、利用時間にばらつきが認められ、男子より女子において長時間利用が際立っている。全体的には携帯電話による利用方法として、比較的料金が安いメールを使用しているが、女子は料金に関係なく利用する傾向が認められた。

以上の結果から、携帯電話は、非行少年にとって極めて大事な情報交換の道具として重要な役割を果たしているものと考えられる。

(2) インターネットについて

インターネットの利用状況については、E₁対象者の4人に3人が携帯電話を媒体として利用していることが認められた。前述の「青少年の社会意識及び活動に関する調査」(茨城県, 2004)において、一般中学生は「自分専用又は家族と共有のパソコン」を主として利用していることから、E₁対象者と一般中学生とのインターネットの使用媒体は大きく異なっていることが認められた。

また、インターネットの使用目的は、E₁対象者、一般中学生共にほぼ同じような傾向が認められるが、E₁対象者にあっては、「勉強・宿題・進路について調べる」が最下位であり、学習関係における「授業の予習・復習をしなかった」、「勉強はしなかった」の回答結果に沿う結果となっている。なお、E₁対象者における特徴的な傾向として、インターネット利用時間が「3時間以上」又は「3時間未満」と回答した者の割合が極めて高く、使用が長時間に及んでいること、男子の2人に1人が「エッチなサイトの情報を見る」を、また、女子においても2人に1人が「出会い系サイトの情報を見る」を選択していることが挙げられよう。

VI おわりに

今回の調査から、初等少年院在院生 (E₁対象者) に特徴的に認められた傾向として、

①学習の面では、ほとんど勉強する時間を設けておらず、予習・復習もしていない。しかも、勉強が分からなければそのままにし、困ったこともなかったこと。

②学校生活の面では、クラブ活動に参加していない者が相当数おり、生徒指導上大きな課題を残しているものの、クラブ活動に参加した場合には「楽しかった」とする者が多く、学校適応へ誘導するための明るい材料を示している。ただし、クラスの係活動や生徒会委員など、公的な活動には消極的であり、学校に行くことそのものが嫌になることが多く、また、学校では節度ある生活はできていなかったと振り返っている。友人関係については、質の善悪は問わなければ、「仲が良かった」とする者が高い割合で存在していること。

③家庭生活の面では、睡眠時間の取り方が長短の両極端に偏っており、朝・昼・晩の3回の食事もしっかりと取らず、「ねむい・だるい」と感じている。また、家庭内における家族との「話し合い」、「あいさつ」は少なく、家庭ではあまり規則正しい生活ができなかったと後悔・反省しているが、家事手伝いしている者も比較的多く、家庭との絆を維持している様子が認められること。

④規範意識の面では、友達から間違っことを誘われたら、「断ることができなかった」という者が極めて多く、出会い系サイトや薬物等に対する危険意識もやや低い。規範意識の強弱を見た項目では、一般中学生が看過しがたい重大な不良行為としたものに対しても低い評価をしていること。

⑤相談対象事項については、「勉強」、「性格」、「体や健康」、「先生との関係」のことで、あまり相談する必要がないが、「家族との関係」については相談したいとする傾向が認められたこと。また、「成績のこと」、「受験・進学のこと」については、相談する必要性はないと一般中学生より強く意識していること。

⑥インターネット・携帯電話については、携帯電話の所持率が極めて高く、所持により日常生活に生じた変化については「ねる時間がおそくなった」、「おそくまで外出することがふえた」を一般中学生より強く感じていること。また、携帯電話による通話は抑制的であるものの、メール使用は長時間に及んでいること。ただし、女子については料金に関係なく通話する傾向が認められること。インターネットは、4人に3人の割合で利用し、そのほとんどが携帯電話を媒体として使用し、長時間使用する傾向があること。特に、使用目的として男子においては「エッチなサイトの情報を得る」が、女子においては「出会い系サイトの情報を見る」が5割を超えていること。

などにまとめることができる。

以上の結果から、調査前からある程度予想されていたことではあるが、一般中学生と初等少年院在院生との間には大きな意識・行動上の違いのあることが明らかになった。

今回の調査のデータは、一般中学生においては、配慮を要する生徒について不良行動や非行行動に陥らないようするための生徒指導上の対応策を、少年院においては、一般中学生と意識・行動の違いがあることを踏まえての教育処遇の在り方を検討する上で、参考となれば幸いである。

最後に、本研究の実施に当たり、調査にご協力を賜った法務省矯正局をはじめ、少年院の各位に、心から謝意を表します。

注 釈

- 注1) E₁級とは、調査時点では「少年院で義務教育課程の履修を必要とする者」を指したが、平成19年10月19日付け矯正局長通達により、現在は「義務教育課程の履修を必要とする者のうち、12歳に達した日以降の最初の3月31日が終了した者」となっている。
- 注2) 平成19年11月1日に「少年法等の一部を改正する法律」が施行され、初等少年院及び医療少年院においては「おおむね12歳以上」の者を収容できるようになった。
- 注3) 残差分析とは、 χ^2 検定で有意であると認められた質問中、どの回答項目が各分類グループの回答傾向を特徴付けているかを確認する分析方法を指す。
- 注4) 母集団の正規性や等分散性が成り立たない場合に用いられるノンパラメトリック検定を指す。U検定（マン・ホイットニー検定）と同様である。

引用文献

- 茨城県 2005 青少年の社会意識及び活動に関する調査
<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/bugai/josei/seisyonen/tyousa/houkoku.pdf>
- 警察庁少年課 2004 青少年の意識・行動と携帯電話に関する調査研究
<http://www.npa.go.jp/safetylife/syonen16/keitaityousa.pdf>
- 総務庁青少年対策本部 1999 第3回非行原因に関する総合的研究調査
- 総務庁青少年対策本部 2000 青少年の暴力観と非行に関する研究調査
- 法務省司法法制調査部 2006 矯正統計年報Ⅱ
- 文部科学省 2005a 子どもの学習費調査（平成16年度）
http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/006/05120501.htm
- 文部科学省 2005b 義務教育に関する意識調査（平成16・17年度）
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/11/05112501/gaiyou.pdf

参考文献

- 岩手県立総合教育センター 2004 学校教育調査
http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/tyousa_abc/index.html
- NTT ドコモ・モバイル社会研究所 2005 モバイル社会白書2005 NTT 出版
- NTT レゾナント・三菱総合研究所 2006 「子どもの携帯電話利用状況」に関する調査結果
<http://research.goo.ne.jp/Result/000256/>
- (株) サーベイリサーチセンター 2004 子どもの携帯電話の利用について
http://www.clue.ne.jp/tyosa/image/jishu_40.pdf

(株) サーベイリサーチセンター 2005 子どもの携帯電話の利用について

http://www.clue.ne.jp/tyosa/image/jishu_41.pdf

(株) サーベイリサーチセンター 2006 子どもの携帯電話の利用について

http://www.clue.ne.jp/tyosa/image/jishu_42.pdf

(株) マーケティングセンター 2006 携帯電話と子供に関する調査

<http://www.mc-com.co.jp/NR/NR20060728.pdf>

警察庁 2006 警察白書

東京都教職員研修センター 2005 児童・生徒の心の発達とメディア環境等との関連に関する研究

http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/sos/deta/t_graph.pdf

日本PTA全国協議会 2004 青少年とインターネット等に関する調査

<http://www.nippon-pta.or.jp/oshirase050520/1.pdf>

博報堂 2004 10～30代男女の携帯電話利用状況調査

<http://www.hakuhodo.co.jp/news/pdf/20040319.pdf>

広島市青少年問題審議会 2004 子供たちの電子メディアの利用実態に関するアンケート調査

<http://www.city.hiroshima.jp/www/contents/1109896706475/files/riyoujittagakkou.pdf>

Benesse 教育研究開発センター 2005 第1回子ども生活実態基本調査報告書

http://benesse.jp/berd/center/open/report/kodomoseikatu_data/2005/index.shtml

保木正和・木村正孝・栗栖素子・澁谷和子・横山潔・古曳牧人 2005 少年院在院者及び少年鑑

別所在所者の生活と意識に関する調査（その1：少年編） 中央研究所紀要, 15, 69-153.

資料1-1 授業の予習・復習をしていましたか (問2)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
していた	54 (37.8)	15 (6.3)	69 (18.2)	$\chi^2(1) = 59.30^{**}$	44 (41.5)	4 (8.7)	48 (31.6)	$\chi^2(1) = 15.99^{**}$
していなかった	89 (62.2)	222 (93.7)	311 (81.8)		62 (58.5)	42 (91.3)	104 (68.4)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 ** $p < .01$, * $p < .05$

資料1-2 勉強がわからなくて困ることがよくありましたか (問3)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
あった	97 (67.8)	160 (67.5)	257 (67.6)	$\chi^2(1) = 0.004$	89 (84.0)	32 (69.6)	121 (79.6)	$\chi^2(1) = 4.10^*$
なかった	46 (32.2)	77 (32.5)	123 (32.4)		17 (16.0)	14 (30.4)	31 (20.4)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 ** $p < .01$, * $p < .05$

資料1-3 あなたは学校から帰宅した後、学習塾に通っていましたか (問23)

	男子	女子	計	検定結果
通っていた	24 (10.1)	6 (13.0)	30 (10.6)	$\chi^2(1) = 0.35$
通わなかった	213 (89.9)	40 (87.0)	253 (89.4)	
合計	237 (100.0)	46 (100.0)	283 (101.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 ** $p < .01$, * $p < .05$

資料1-4 クラブ活動は楽しかったですか (問1)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
楽しかった	107 (74.8)	112 (66.3)	219 (70.2)	$\chi^2(1) = 2.71$	73 (68.9)	20 (74.1)	93 (69.9)	$\chi^2(1) = 0.28$
楽しくなかった	36 (25.2)	57 (33.7)	93 (29.8)		33 (31.1)	7 (25.9)	40 (30.1)	
合計	143 (100.0)	169 (100.0)	312 (100.0)		106 (100.0)	27 (100.0)	133 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 ** $p < .01$, * $p < .05$

資料1-5 クラスの係や生徒会などの委員になって活動したいと思いましたが(問4)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
思った	73 (51.0)	64 (27.0)	137 (36.1)	$\chi^2(1) = 22.37^{**}$	70 (66.0)	18 (39.1)	88 (57.9)	$\chi^2(1) = 9.53^{**}$
思わなかった	70 (49.0)	173 (73.0)	243 (63.9)		36 (34.0)	28 (60.9)	64 (42.1)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-6 学校に行くのがいやになることがありましたか(問6)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
あった	57 (39.9)	135 (57.0)	192 (50.5)	$\chi^2(1) = 10.44^{**}$	65 (61.3)	40 (87.0)	105 (69.1)	$\chi^2(1) = 9.87^{**}$
なかった	86 (60.1)	102 (43.0)	188 (49.5)		41 (38.7)	6 (13.0)	47 (30.9)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-7 学校で節度のある生活ができていましたか(問8)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
できていた	107 (74.8)	17 (7.2)	124 (32.6)	$\chi^2(1) = 185.68^{**}$	89 (84.0)	1 (2.2)	90 (59.6)	$\chi^2(1) = 87.66^{**}$
できていなかった	36 (25.2)	220 (92.8)	256 (67.4)		17 (16.0)	44 (97.8)	61 (40.4)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	45 (100.0)	151 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-8 友だちとの仲は良かったと思いますか(問9)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
仲がよかった	137 (95.8)	202 (85.2)	339 (89.2)	$\chi^2(1) = 10.36^{**}$	95 (89.6)	40 (87.0)	135 (88.8)	$\chi^2(1) = 0.23$
よくなかった	6 (4.2)	35 (14.8)	41 (10.8)		11 (10.4)	6 (13.0)	17 (11.2)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-9 授業以外で先生と「もっと会話がしたいな」と思いましたか(問11)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
思った	27 (18.9)	82 (34.6)	109 (28.7)	$\chi^2(1) = 10.77^{**}$	28 (26.4)	18 (39.1)	46 (30.3)	$\chi^2(1) = 2.46$
思わなかった	116 (81.1)	155 (65.4)	271 (71.3)		78 (73.6)	28 (60.9)	106 (69.7)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-10 中学に通っていたころ、イライラすることが多かったですか(問13)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
あった	103 (72.0)	184 (78.0)	287 (75.7)	$\chi^2(1) = 1.71$	82 (77.4)	40 (87.0)	122 (80.3)	$\chi^2(1) = 1.87$
なかった	40 (28.0)	52 (22.0)	92 (24.3)		24 (22.6)	6 (13.0)	30 (19.7)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-11 中学に通っていたころ、ねむい・だるいと感じていましたか(問15)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
感じていた	118 (82.5)	192 (81.0)	310 (81.6)	$\chi^2(1) = 0.13$	94 (88.7)	43 (93.5)	137 (90.1)	$\chi^2(1) = 0.83$
感じていなかった	25 (17.5)	45 (19.0)	70 (18.4)		12 (11.3)	3 (6.5)	15 (9.9)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-12 あなたは1日3回の朝・昼・晩の食事をとっていましたか(問16)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
とっていた	133 (93.0)	64 (27.0)	197 (51.8)	$\chi^2(1) = 155.62^{**}$	92 (86.8)	5 (10.9)	97 (63.8)	$\chi^2(1) = 80.08^{**}$
とらなかった	10 (7.0)	173 (73.0)	183 (48.2)		14 (13.2)	41 (89.1)	55 (36.2)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-13 家庭では規則正しい生活ができていたと思いますか (問18)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
できていた	91 (63.6)	27 (11.4)	118 (31.1)	$\chi^2(1) = 113.70^{**}$	63 (59.4)	5 (10.9)	68 (44.7)	$\chi^2(1) = 30.60^{**}$
できていなかった	52 (36.4)	210 (88.6)	262 (68.9)		43 (40.6)	41 (89.1)	84 (55.3)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-14 あなたは家の人から生活上の注意をよく受けましたか (問19)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
受けた	110 (76.9)	192 (81.4)	302 (79.7)	$\chi^2(1) = 1.08$	88 (83.0)	35 (76.1)	123 (80.9)	$\chi^2(1) = 1.00$
受けなかった	33 (23.1)	44 (18.6)	77 (20.3)		18 (17.0)	11 (23.9)	29 (19.1)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-15 あなたは家族の人と話し合いをよくした方ですか (問20)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
話し合いをした	103 (72.0)	125 (52.7)	228 (60.0)	$\chi^2(1) = 13.82^{**}$	77 (72.6)	19 (41.3)	96 (63.2)	$\chi^2(1) = 13.54^{**}$
話し合いをしなかった	40 (28.0)	112 (47.3)	152 (40.0)		29 (27.4)	27 (58.7)	56 (36.8)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-16 家族同士で「おはよう・おやすみなさい」などのあいさつをしていましたか (問21)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
あいさつをした	112 (78.3)	95 (40.1)	207 (54.5)	$\chi^2(1) = 52.58^{**}$	84 (79.2)	21 (45.7)	105 (69.1)	$\chi^2(1) = 16.95^{**}$
あいさつをしなかった	31 (21.7)	142 (59.9)	173 (45.5)		22 (20.8)	25 (54.3)	47 (30.9)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-17 あなたは家事の手伝いをしていましたか (問22)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
していた	93 (65.0)	133 (56.1)	226 (59.5)	$\chi^2(1) = 2.94$	80 (75.5)	27 (58.7)	107 (70.4)	$\chi^2(1) = 4.33^*$
しなかった	50 (35.0)	104 (43.9)	154 (40.5)		26 (24.5)	19 (41.3)	45 (29.6)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-18 あなたは学校から帰宅した後、読書をしていましたか (問24)

	男子	女子	計	検定結果
していた	75 (31.6)	9 (19.6)	84 (29.7)	$\chi^2(1) = 2.69$
しなかった	162 (68.4)	37 (80.4)	199 (70.3)	
合計	237 (100.0)	46 (100.0)	283 (101.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-19 友だちから「間違っただこと」を誘われたら、断ることができましたか (問12)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
できた	106 (74.1)	37 (15.6)	143 (37.6)	$\chi^2(1) = 130.11^{**}$	93 (87.7)	9 (20.5)	102 (68.0)	$\chi^2(1) = 64.68^{**}$
できなかった	37 (25.9)	200 (84.4)	237 (62.4)		13 (12.3)	35 (79.5)	48 (32.0)	
合計	143 (100.0)	237 (100.0)	380 (100.0)		106 (100.0)	44 (100.0)	150 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

資料1-20 「出会い系サイト」や「薬物(シンナー類など)」などが危険であることを知っていましたか (問17)

	男子				女子			
	中学生	E1対象者	計	検定結果	中学生	E1対象者	計	検定結果
知っていた	132 (92.3)	204 (86.4)	336 (88.7)	$\chi^2(1) = 3.05$	103 (97.2)	38 (82.6)	141 (92.8)	$\chi^2(1) = 10.13^{**}$
知らなかった	11 (7.7)	32 (13.6)	43 (11.3)		3 (2.8)	8 (17.4)	11 (7.2)	
合計	143 (100.0)	236 (100.0)	379 (100.0)		106 (100.0)	46 (100.0)	152 (100.0)	

注1 ()内は、構成比である。注2 **p<.01, *p<.05

2007 整理番号

アンケート調査 (調査票)

矯正協会附属中央研究所

これは、皆さんが「中学校に通っていた」にしろの、学校や家庭、日々の生活についてのどのよう^{かたが}に考えているかを尋ねる調査です。
 調査票には、あなたの名前を書く必要はありません。
 今回の調査で答えたことが、今後の成績や保護観察等に影響することはありませんので、感^{あつ}たまま、感じたままを答えてください。御協力をお願いします。

まず、以下の質問にお答えください。

性別	男	女	(いずれかに○)
少年院に入院した時の年齢	2歳下	2歳上	1歳下
入院した時の学年	2級下	2級上	1級上
現在の処遇職	2級下	2級上	1級下
	1級上	1級下	その他 (いずれかに○)
	中学生	高校生	

次に、下に書かれている「アンケートの答え方」をよく読んでください。

アンケートの答え方

- 1 選択肢のあてはまる番号を一つだけ選んで、○をつける場合
 【質問】あなたは、サッカーをすることが好きでしたか。
 1 とても好きだった 2 大体好きだった 3 あまり好きではなかった
 4 好きではなかった
 → 好きでなかった場合は、4の番号に直接○をつけます。
- 2 複数の選択肢を選ぶ場合
 【質問】好きな科目を次の中で、あてはまるものすべてに○をつけてください。
 1 国語 2 算数 3 社会 4 理科 5 英語 6 体育
 → 国語と社会と英語が好きだと思ったら、1と3と5の番号に○をつけます。

3 もし、間違えた場合は、消しゴムで消して書き直してください。消しゴムがない場合は、間違えた答えに二重線を引いて書き直してください。

くそれでは、次のページから質問に入ります。ページをめぐって、問1から順番に答えてください。>

あなたが中学校に通っていたとき

【問1】クラブ活動は楽しかったですか

- 1 とても楽しかった 2 大体楽しかった 3 あまり楽しくなかった 4 楽しくなかった
- 5 入っていないかった

【問2】授業の予習・復習をしていましたか

- 1 していた 2 少ししていた 3 あまりしていませんかった 4 していませんかった

【問3】勉強が分からなくて困ることがよくありましたか

- 1 よくあった 2 時々あった 3 あまりなかった 4 なかった

【問4】クラスの係や生徒会などの委員になって活動してみたいと思いましたが

- 1 そう思った 2 少し思った 3 あまり思わなかった 4 思わなかった

【問5】家に帰ってから、勉強は平均何時間ぐらいらしていましたが

- 1 3時間以上 2 2時間未満 3 2時間未満 4 1時間未満 5 1時間未満

【問6】学校に行くのがいやになることがありましたか

- 1 よくあった 2 少しあった 3 あまりなかった 4 なかった

【問7】勉強がわからないとき、主に何に頼っていましたか (1つだけ選ぶ)

- 1 先生 2 友だち 3 家族 4 塾 5 参考書 6 そのままにしておいた

【問8】学校で節度のある生活ができていましたか

- 1 できていた 2 大体できていた 3 あまりできていませんかった 4 できていませんかった

【問9】友だちとの仲は良かったと思いますか

- 1 とても仲がよかった 2 大体仲がよかった 3 あまり良くなかった 4 よくなかった

【問10】あなたは「困った」とき、主に誰に相談していますか（1つだけ選ぶ）

- 1 先生
- 2 友だち
- 3 親・家族
- 4 相談しない
- 5 その他

【問11】授業以外で先生と「もっと会話したいな」と思いましたか

- 1 そう思った
- 2 少し思った
- 3 あまり思わなかった
- 4 思わなかった

【問12】友だちから「間違ったこと」を誘われたら、断ることができましたか

- 1 いつでもできた
- 2 だいたいできた
- 3 あまりできなかつた
- 4 できなかつた

【問13】中学に通っていたころ、イライラすることが多かったですか

- 1 よくあった
- 2 少しあった
- 3 あまりなかつた
- 4 なかつた

【問14】あなたの睡眠時間は中学に通っていたころ、平均どれくらいでしたか

- 1 9時間以上
- 2 9時間未満
- 3 8時間未満
- 4 7時間未満
- 5 6時間未満
- 6 時間未満

【問15】中学に通っていたころ、ねむい・だるいと感じていましたか

- 1 感じていた
- 2 少し感じていた
- 3 あまり感じていなかった
- 4 感じていなかった

【問16】あなたは1日3回の朝・昼・晩の食事をとっていましたか

- 1 とっていた
- 2 大体とっていた
- 3 あまりとらなかつた
- 4 とらなかつた

【問17】「出会い系サイト」や「薬物（シンナー類など）」などが危険であることを知っていましたか

- 1 よく知っていた
- 2 大体知っていた
- 3 あまり知らなかつた
- 4 知らなかつた

【問18】家庭では規則正しい生活ができていたと思いますか

- 1 できていた
- 2 大体できていた
- 3 あまりできていなかった
- 4 できていなかった

【問19】あなたは家の人から生活上の注意をよく受けましたか

- 1 よく受けた
- 2 少し受けた
- 3 あまり受けなかつた
- 4 受けなかつた

【問20】あなたは家族の人と話し合いをよくした方ですか

- 1 よく話をした
- 2 少し話をした
- 3 あまり話をしなかつた
- 4 話をしなかつた

【問21】家族同士で「おはよう・おやすみなさい」などのあいさつをしていますが

- 1 必ずしていた
- 2 ときどきしていた
- 3 あまりしなかつた
- 4 しなかつた

【問22】あなたは家事の手伝いをしていますか

- 1 していた
- 2 ときどきしていた
- 3 あまりしなかつた
- 4 しなかつた

【問23】あなたは学校から帰宅した後、学習塾に通っていましたか

- 1 通っていた
- 2 ときどき通っていた
- 3 あまり通わなかつた
- 4 通わなかつた

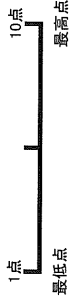
【問24】あなたは学校から帰宅した後、読書をしていましたか

- 1 していた
- 2 ときどきしていた
- 3 あまりしなかつた
- 4 しなかつた

【問25】中学に通っていたころ、下のことがらについて、相談したかどうかとうかについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	相談事項	できれば相談したかった	少し相談したかった	相談しなくてもよかった
例	日本の政治のこと	1	2	③
ア	勉強のこと	1	2	3
イ	クラブ活動のこと	1	2	3
ウ	自分の性格のこと	1	2	3
エ	学校の登下校中のこと	1	2	3
オ	体や健康のこと	1	2	3
カ	友だちとの関係のこと	1	2	3
キ	家族との関係のこと	1	2	3
ク	先生との関係のこと	1	2	3
ケ	成績のこと	1	2	3
コ	受験・進学のこと	1	2	3

【問26】 次のことから「してはいけないこと」として、最高で10点、最低で1点をつけるとすると、中学校に通っていたときのあなたの思ったら、何点をつけると思えますか。それぞれの（ ）の中に点数を書いてください。



- かげろ・うわさ話 () 携帯電話の持参 ()
- 服装・髪型違反 () ガラスなどを壊す ()
- モノを投げつける・隠す () 暴力を振るう ()
- 授業中の私語・雑談 () 授業中にマンガを読む ()
- 落書き () タバコを吸う ()
- 授業中、教室から抜け出す () 授業中、教室内をうろろする ()
- お菓子などの持参 () 勝手に遅刻・早退する ()
- ナイフを持ち歩く () お酒を飲む ()
- 無断外泊をする () セックスをする ()
- 気に入らない友だちをハブにする ()
- ゲームセンターやカラオケなどで夜遅くまで遊ぶ ()

【問27】 あなたは中学校に通っていたとき、携帯電話を持っていましたか

- 1 自分専用でもっていた 2 家族と共有でもっていた 3 持っていないかった

問27で、1又は2に○をつけた人は以下の質問にお答えください。(3に○をつけた人は問28に避けてください)

★ あなたは携帯電話を使うようになって、変わったと思うことがありますか。次の中で、あなたが最も嫌いなことに、○をつけてください。

- 1 家族と直接会話することが減った 2 家族と直接会話することが増えた
- 3 友だちの数が減った 4 自分を理解してくれる人が減った
- 5 エッチな情報にふれる機会が多くなった 6 命の危険を感じるようになった
- 7 マナーを気にするようになった 8 メールを気にするようになった
- 9 おそくまで外出することが減った 10 ねる時間がおそくなった
- 11 自分の部屋にいる時間が減った 12 勉強をする時間が減った
- 13 お金の使い方を気にするようになった 14 携帯を持ち歩かないと不安になるようになった

★ あなたは1日平均で携帯電話でどれくらい

メールをしていましたか	1 3時間以上	2 2時間未満	3 3時間未満	4 1時間未満
電話をしていましたか	1 3時間以上	2 3時間未満	3 2時間未満	4 1時間未満

各質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

【問28】 あなたは学校以外でインターネットを利用していましたか

- 1 携帯電話で利用していた 2 自分専用のパソコンで利用していた
- 3 家族と共有のパソコンで利用していた 4 利用していません

問28で1～3に○をつけた人のみ以下の質問にお答えください。(4に○をつけた人は答えなくしてください)

- ★ あなたは1日にどれくらいインターネットを使用していましたか
 - 1 3時間以上 2 3時間未満 3 2時間未満 4 1時間未満
- ★ あなたはインターネットをどんなことで利用していましたか。次の中で、あなたが最もよく使ったことに○をつけてください。
 - 1 メールをする
 - 2 勉強・宿題、連絡について調べる
 - 3 音楽をきいたり、ダウンロードする
 - 4 着メロ (着うた) や待ち受け画面などをダウンロードする
 - 5 ゲームをする
 - 6 オークションや買い物をする
 - 7 けいけい板やチャットを見たり、書き込みをする
 - 8 自分のホームページを作成、更新する
 - 9 ニュース、天気よほう、うらないなどを見る
 - 10 エッチなサイトの情報を見る
 - 11 出会い系サイトの情報を見る
 - 12 はんざい、自撮りに関する情報を見る
 - 13 葉物 (ドラッグ) に関する情報を見る
 - 14 目的を持たずにきょうろに見る

※ 御協力ありがとうございました。